

保育士養成校の就職状況にかかる調査

(令和元年度)

新潟市

内容

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査期間	3
5. 集計・分析にあたって	3
6. 回収結果	4
7. 回答者の出身地	4
8. 本報告書集計対象	4
9. 結果概要	5
II 調査結果	9
1. 現況について	11
(1) 通っている保育士養成校	11
(2) 就職予定施設	12
(3) 勤務地	15
2. 就職活動時の情報収集について	16
(1) 就職活動を行ったか	16
(2) 就職活動を開始した時期	17
(3) 就職活動における情報の入手先	18
(4) 最も参考にした情報の入手先	21
(5) 就職活動の参考として、今後充実させるとよいと思うもの	24
(6) 就職先に公開してほしい情報	27
(7) 実習や見学・ボランティアに参加した施設数	30
3. 就職先の決定について	31
(1) 就職先を決めるにあたって重視したもの	31
(2) 就職先を決めるにあたって最も重視したもの	34

(3) 就職したい候補として残った施設数	37
(4) 応募した施設数	38
(5) 1年目の月給(額面)として欲しいと思った金額	39
(6) 新潟の園の魅力を高めるために必要だと思うこと	40

4. 住まいについて 43

(1) 4月からの住まい	43
(2) 実家暮らしをする理由	44
(3) 一人暮らしをする理由	46
(4) 就職先を選ぶうえで一人暮らしのための支援の考慮	47
(5) 出身地で自己負担が少なく一人暮らしが出来る園の就職先候補への影響	48

5. 奨学金について 49

(1) 奨学金の利用の有無	49
(2) 就職先を選ぶうえでの、給与の高さや手当の考慮	50
(3) 就職先を選ぶうえで、奨学金返済のために実家から通えることの考慮	51
(4) 出身地で就職した場合、奨学金の返済を免除・支援する制度の就職先候補への影響	52

Ⅲ 調査票様式 55

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

近年、増加傾向にある保育士の県外転出を抑制するため、保育士養成校生徒の就職に対する意識を確認し、人口減少に関する分析及び今後の施策形成に反映させる。

2. 調査対象

対象者：県内保育士養成校在籍者のうち、今年度卒業見込みの生徒 637名

3. 調査方法

自紙式アンケートおよび新潟市ホームページにおけるWEB回答
調査票の配布から回収までは、以下の通り

- ・ 配布・・・各養施設に施設ごと一括送付し養成施設より生徒に配布
 - ・ 回収・・・調査票のとりまとめを要請施設が行い、施設ごとに回収
- WEB回答分については、回答者が直接回答

4. 調査期間

令和2年1月6日～1月31日

5. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値(%)は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。
- (4) 回答が0.0%の場合、数値を表示していないグラフがある。

6. 回収結果

対象人数 637 名 回答数 506 名 回答率 79.4%

7. 回答者の出身地

	村上市	関川村	栗島浦村	胎内市	新発田市	聖籠町	新潟市	阿賀野市	阿賀町	五泉市	弥彦村
人数	15	1	0	3	18	4	170	14	0	7	3
割合 (%)	3.0	0.2	0.0	0.6	3.6	0.8	33.6	2.8	0.0	1.4	0.6

	燕市	三条市	加茂市	田上町	見附市	長岡市	出雲崎町	小千谷市	魚沼市	南魚沼市	湯沢町
人数	18	21	9	3	13	66	0	7	13	9	1
割合 (%)	3.6	4.2	1.8	0.6	2.6	13.0	0.0	1.4	2.6	1.8	0.2

	十日町市	津南町	柏崎市	刈羽村	上越市	妙高市	糸魚川市	佐渡市	首都圏	その他 県外	無回答
人数	9	3	13	3	33	1	7	11	5	23	3
割合 (%)	1.8	0.6	2.6	0.6	6.5	0.2	1.4	2.2	1.0	4.5	0.6

※首都圏：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

8. 本報告書集計対象

本報告書はアンケート回答者の中から、新潟市出身の回答者（170名）のみを集計の対象として作成している。

9. 結果概要

(1) 現況について

■就職予定施設

- ・「認定こども園」と「私立認可保育園」が半数以上を占めている。
- ・教育・保育施設以外へ就職する人が3割弱いる。
- ・首都圏に勤務する人では、「認定こども園」の割合が非常に低く、「私立認可保育園」の割合が高い。

■勤務地

- ・「新潟市」の割合が8割近くと最も高いが、次いで「首都圏」が1割以上いる。

(2) 就職活動時の情報収集について

■就職活動の実施

- ・全体の3割弱の人が、教育・保育施設への就職活動を行っていない。

■就職活動を開始した時期

- ・9月までに7割近くの人が就職活動を開始する。
- ・首都圏や県外に勤務する人の就職活動の開始時期が早い傾向にある。

■就職活動における情報の入手先

- ・「学校に届く求人情報」と「園のホームページ・SNS」が6割を超えており、情報収集における重要なコンテンツとなっている。
- ・首都圏に勤務する人では「園のホームページ・SNS」を参考にしている割合が最も高い。

■最も参考にした情報の入手先

- ・「学校に届く求人情報」の割合が最も高い。
- ・首都圏に勤務する人では、「園や法人などが主催の採用説明会」「就職情報サイト」の割合が高く、学校以外で得た情報が大きく影響おり、新潟市への勤務者とは異なる傾向にある。

■就職活動の参考として、今後充実させるとよいと思うもの

- ・「学校の求人情報（掲載情報の充実）」の割合が最も高い。
- ・求人情報やホームページといった情報収集コンテンツの充実と、実習や意見交換会等によって現場の雰囲気を感じ取れる機会の増加の両面が求められている。

■就職先に公開してほしい情報

- ・「職員の平均給与額」の割合が最も高い。
- ・首都圏に勤務する人では、「実際に働いている職員の声」を求める割合が高い。

(3) 就職先の決定について

■就職先を決めるにあたって（最も）重視したもの

- ・就職先の決め手は、「職員の人柄や雰囲気」が最も重視されている。
首都圏に勤務する人は経済的な点を重視している傾向にあるが、最も重視しているのは「職場の人柄や雰囲気」である。
- ・新潟市に勤務する人は、「自宅からの距離（通勤時間）」に影響を受けている。

■就職したい候補として残った施設数

- ・「1施設」の割合が5割弱であり、就職候補の施設を複数確保できていない人が多い。

■新潟の園の魅力を高めるために必要だと思うこと

- ・「給与の増額」の割合が最も高いが、「職員が出産・子育てしやすい環境の整備」や「福利厚生（各種手当）の充実」など待遇面の改善も求められている。
- ・首都圏に勤務する人では、他の地域と比べて「若手保育士の育成体制の強化」の割合が高い。

(4) 住まいについて

■4月からの住まい

- ・約8割が実家暮らしで、1割強が一人暮らしを予定している。

■実家暮らしをする理由

- ・2割以上が「一人暮らしをしたいが金銭的に余裕がない」を選択しており、実家暮らしを選択した人の中でも、潜在的に一人暮らしを希望する人は多い。

■出身地での一人暮らしの環境整備を整備することによる就職先候補への影響

- ・自己負担が少なく一人暮らしが出来る園が増えれば、多くの園が就職先の候補となると「思う」「どちらかといえば思う」人は7割以上であった。
- ・「思う」の割合は、首都圏に勤務する人が最も高い。

(5) 奨学金について

■奨学金の利用の有無

- ・奨学金を利用している人は4割以上いる。

■就職先を選ぶにあたって、奨学金返済のために給与の高さや手当を考慮したか

- ・「考慮した」「どちらかといえば考慮した」の合計は6割以上であった。
- ・「考慮した」の割合は、首都圏に勤務する人が最も高い。

■出身地で奨学金の返済を免除・支援することによる就職先候補への影響

- ・出身地で就職した場合、奨学金の返済を免除もしくは返済を支援する制度があったとしたら、

もっと多くの園が就職先の候補になったと「思う」「どちらかといえば思う」人の割合は、6割以上であった。

- 「思う」「どちらかといえば思う」の割合は、首都圏で勤務する人で8割と最も高い。

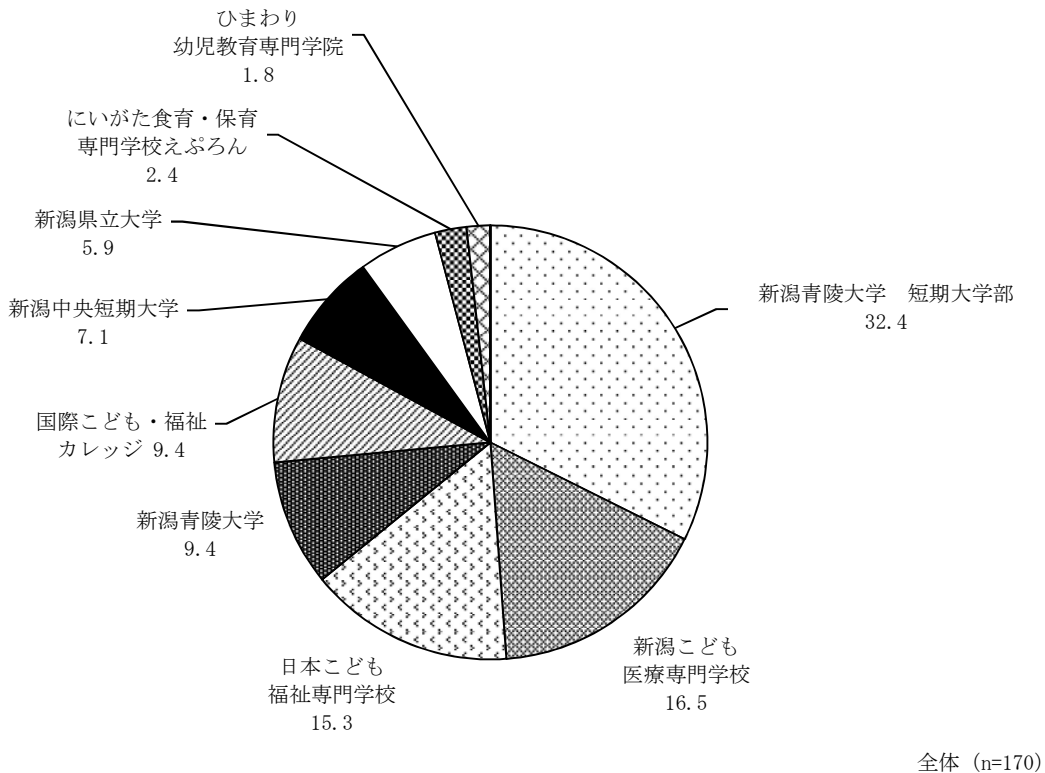
Ⅱ 調 査 結 果

(新潟市出身者の集計)

1. 現況について

(1) 通っている保育士養成校

問1 現在通っている保育士養成施設（以下、「学校」といいます）を選んでください



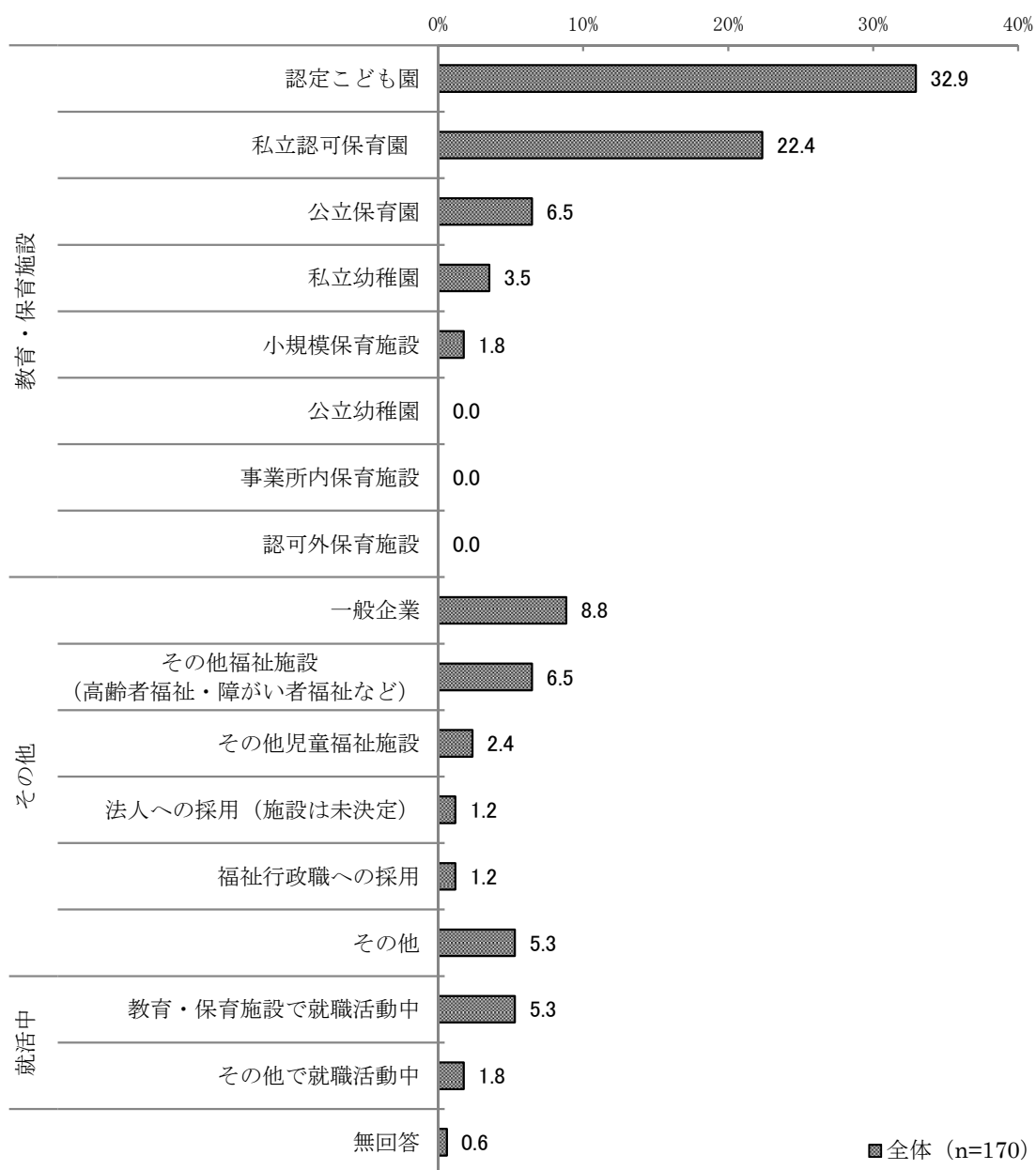
【全体結果】

全体として回答者が最も多かった学校は、「新潟青陵大学 短期大学部」(32.4%)であった。

次いで、「新潟こども医療専門学校」(16.5%)、「日本こども福祉専門学校」(15.3%)、「新潟青陵大学」「国際こども・福祉カレッジ」(いずれも9.4%)の順となった。

(2) 就職予定施設

問2 就職予定の施設の種類を選んでください



— 『認定こども園』(32.9%) と 『私立認可保育園』(22.4%) で 5 割以上 —

【全体結果】

「認定こども園」(32.9%) と 「私立認可保育園」(22.4%) の割合が高く、この2つ(55.3%)で5割を超す。他方で、就活中も含めて26%(法人への採用を除く)と3割弱の人が教育・保育施設以外へ就職している。

【勤務地別結果】（図 1-1 参照）

新潟市に勤務する人では、「認定こども園」（35.6%）と「私立認可保育園」（20.7%）の割合が高く5割を超える。県内（新潟市以外）に勤務する人でも、「認定こども園」（41.7%）と「私立認可保育園」（16.7%）の割合が高く5割を超える。また、「その他福祉施設（高齢者福祉・障がい者福祉など）」（16.7%）の割合が、他の地域よりも高いことが特徴的であった。

首都圏に勤務する人では、「認定こども園」（5.3%）の割合が低く、「私立認可保育園」（42.1%）の割合が高いことが特徴的であった。

図 1-1 就職予定施設（勤務地別） 1/2

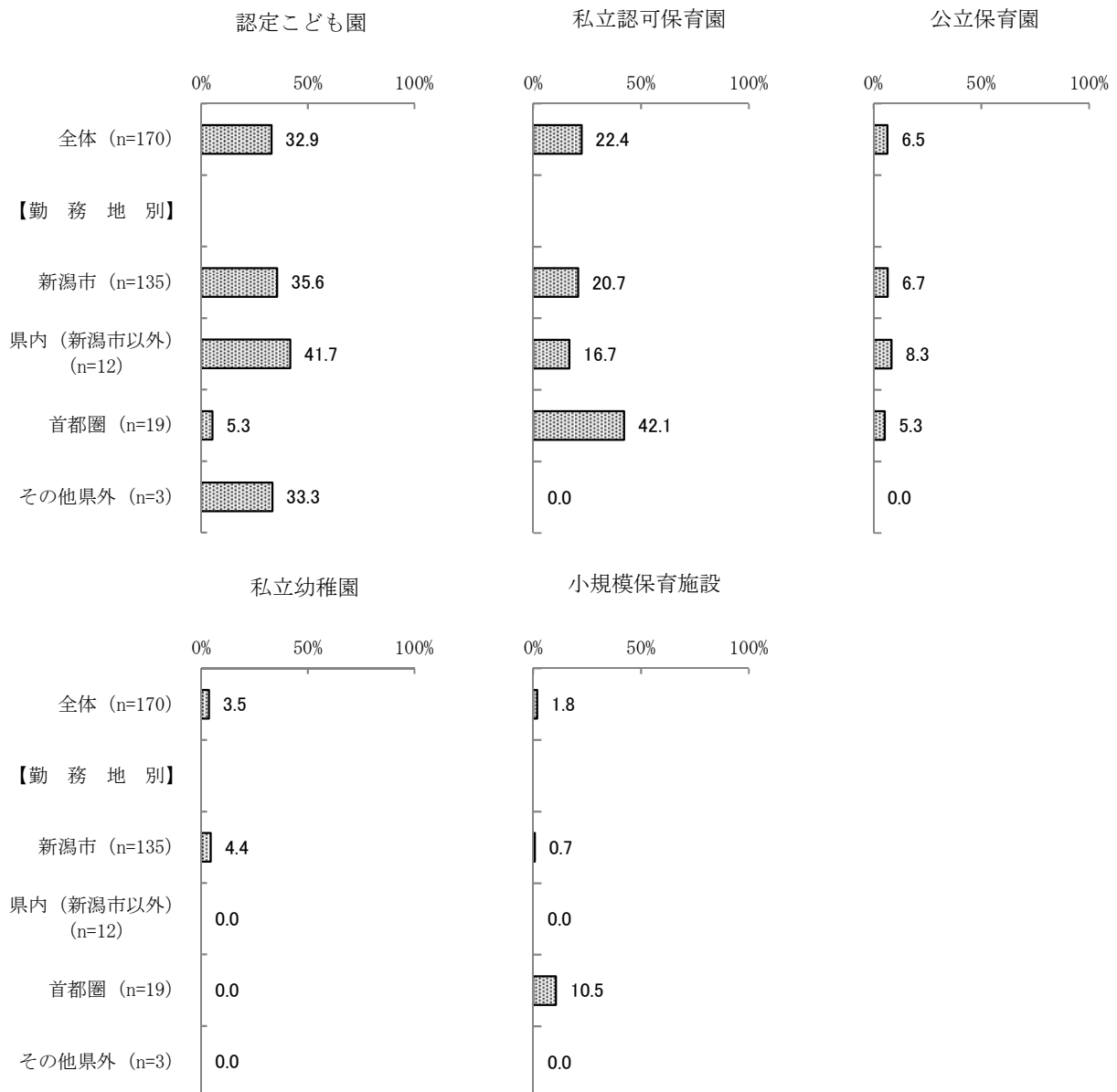
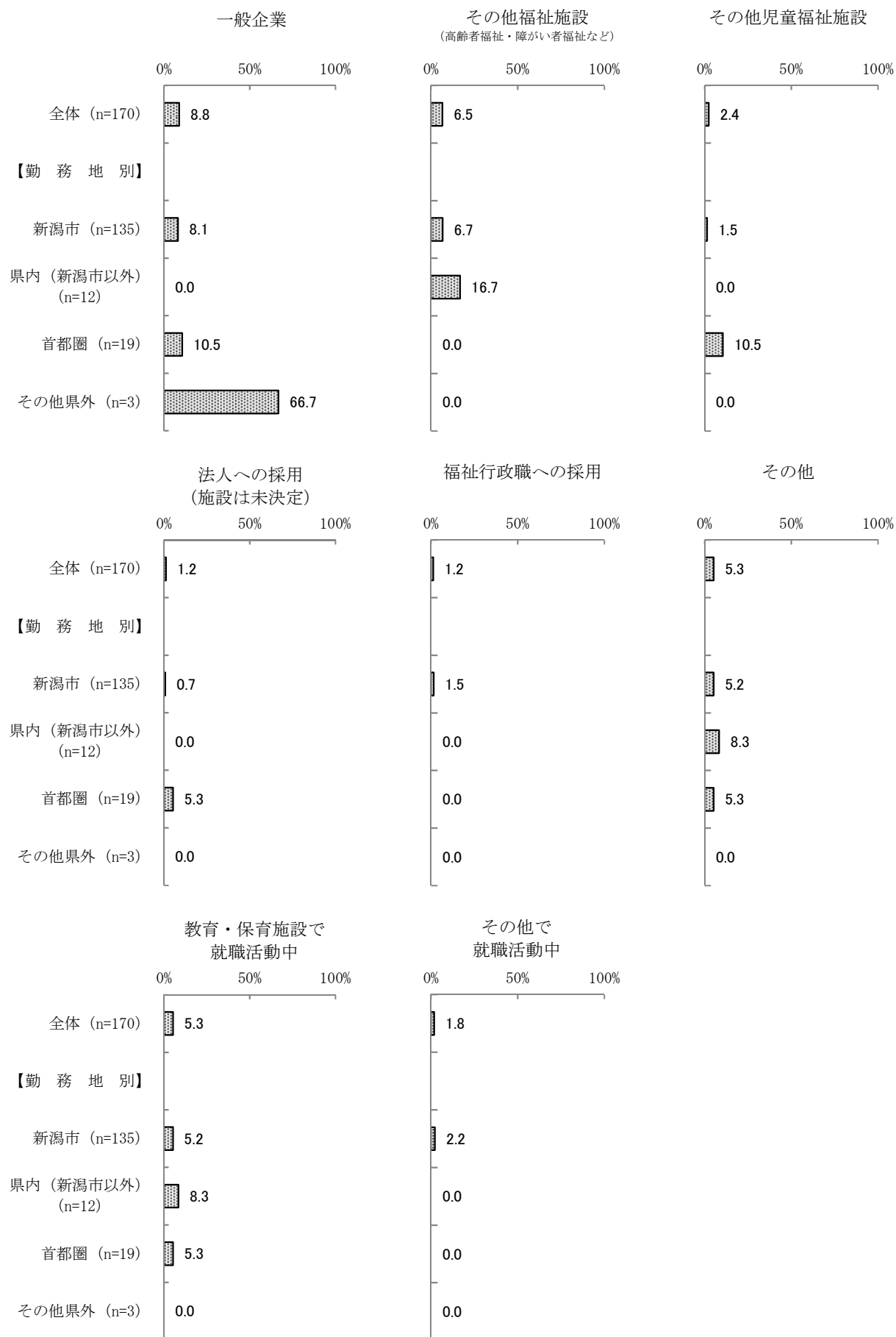


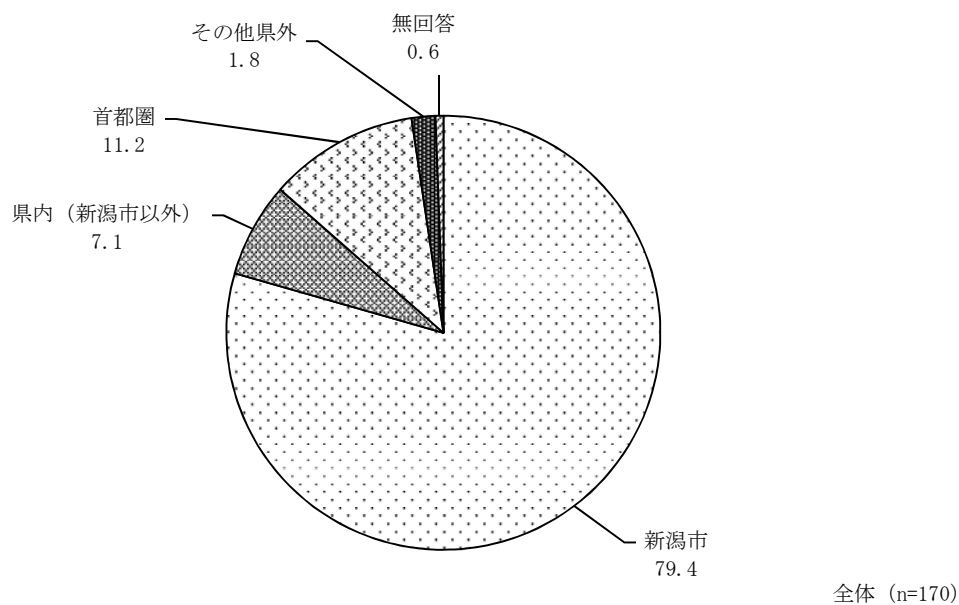
図 1-1 就職予定施設（勤務地別）



(3) 勤務地

問4 就職予定の勤務地（施設の所在地）を選んでください

※就職活動中の方や勤務地がまだ決まっていない方は、希望する勤務地を選んでください



— 『新潟市』が約8割、『首都圏』が1割強 —

【全体結果】

全体では「新潟市」（79.4%）の割合が最も高く8割近くとなった。次に「首都圏」（11.2%）の割合が高い。

新潟県内の合計は86.5%となり、「県外」が12.9%となった。

2. 就職活動時の情報収集について

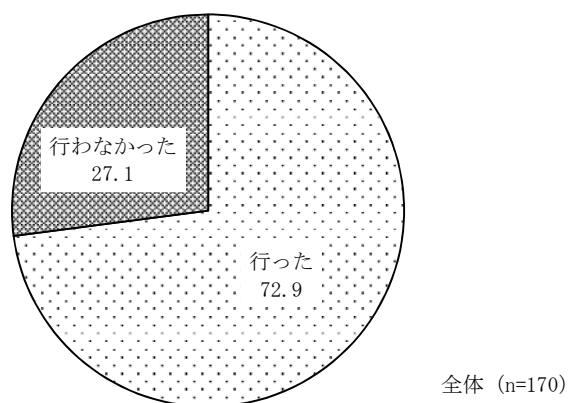
(1) 就職活動を行ったか

問5 以下の施設を対象とした就職活動を行いましたか

【対象の教育・保育施設】

公立保育園・私立認可保育園・公立幼稚園・私立幼稚園・認定こども園

小規模保育施設・事業所内保育施設・認可外保育施設



— 『行わなかった』が3割弱 —

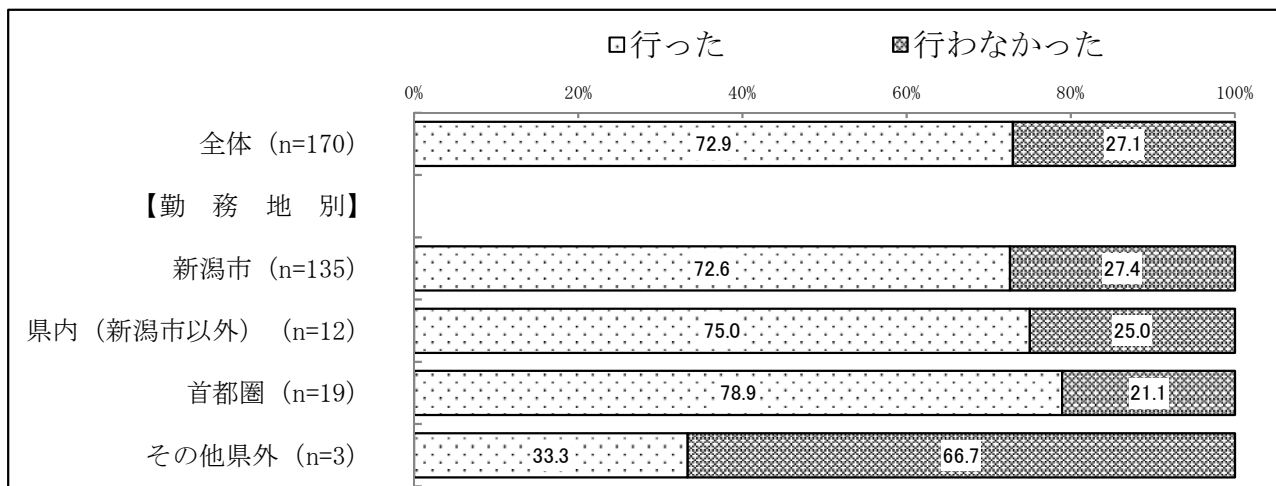
【全体結果】

全体では、「行わなかった」(27.1%)が3割弱となった。

【勤務地別結果】(図2-1参照)

新潟市や県内(新潟市以外)に勤務する人と比べ、首都圏に勤務する人では、「行った」(78.9)の割合が高く8割近くとなった。

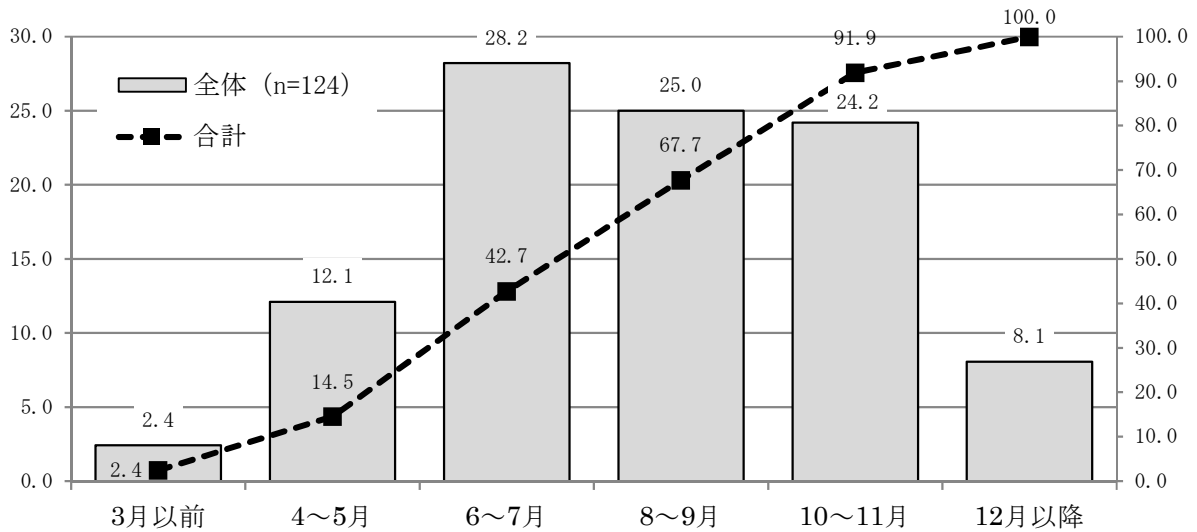
図2-1 就職活動を行ったか(勤務地別)



(2) 就職活動を開始した時期

問7 【問5で①を選んだ方へ】

就職活動を昨年のいつ頃から始めたか1つ選んでください
(求人の情報収集や説明会の参加などを始めた時期)



— 7月までで4割を超し、9月までで7割近くとなる —

【全体結果】

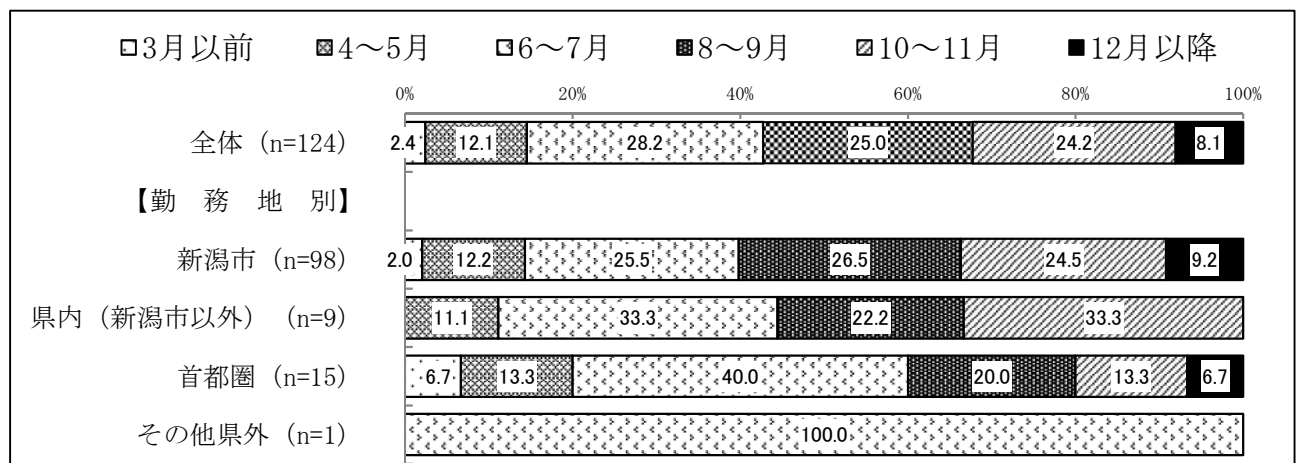
全体では、「6~7月」(28.2%)の割合が最も高い。

5月までで合計14.5%、7月までで42.7%、9月までで67.7%、11月までで91.9%が就職活動を始めている。

【勤務地別結果】(図2-2参照)

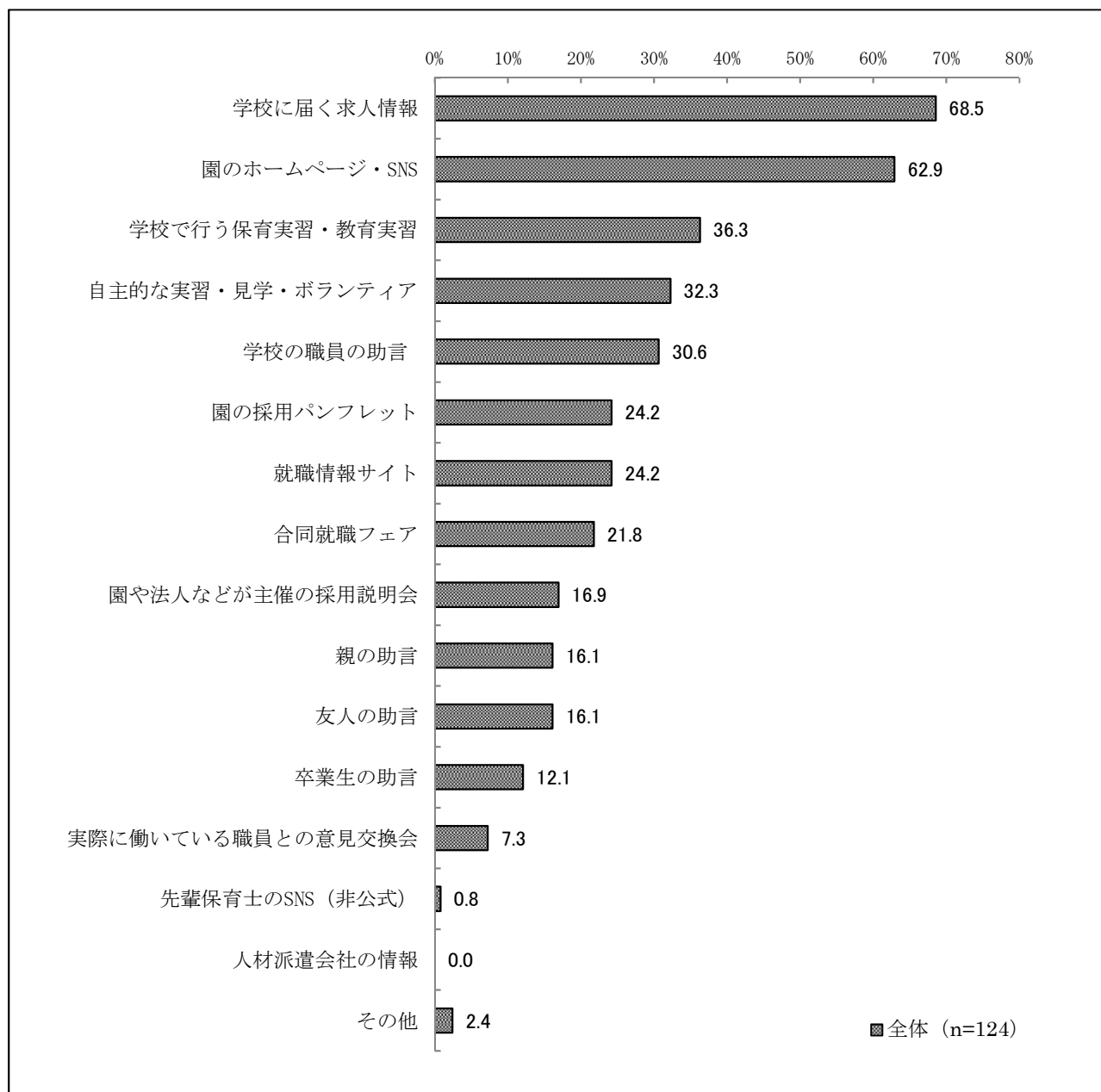
勤務地別で、7月までに就職活動を始める人の割合は、新潟市で39.8%、県内(新潟市以外)で44.4%、首都圏で60.0%となった。地元(新潟市)以外に勤務する人、特に首都圏や県外に勤務する人で就職活動を始める時期が早い人の割合が高い。

図2-2 就職活動を開始した時期(学校別/出身地別/勤務地別)



(3) 就職活動における情報の入手先

問8 就職活動時の情報収集をする際に参考にしたものを全て選んでください（複数回答）



— 『学校に届く求人情報』（68.5%）、『園のホームページ・SNS』（62.9%）が6割超 —

【全体結果】

全体では、「学校に届く求人情報」（68.5%）の割合が最も高く、次に「園のホームページ・SNS」（62.9%）が高く6割を超した。この2つが情報収集における重要なコンテンツとなっている。

【勤務地別結果】（図 2-3 参照）

新潟市に勤務する人では、他の地域と比べ「自主的な実習・見学・ボランティア」（36.7％）の割合が高い。

首都圏に勤務する人は、「園のホームページ・SNS」（86.7％）の割合が最も高い。また、「学校で行う実習・教育実習」（6.4％）の割合が極端に低く、「就職情報サイト」（40.0％）、「園や法人などが主催の採用説明会」、「園の採用パンフレット」（いずれも 33.3％）が高く、学校以外から積極的に情報を得ている姿が伺える。

図 2-3 就職活動における情報の入手先（勤務地別） 1/2

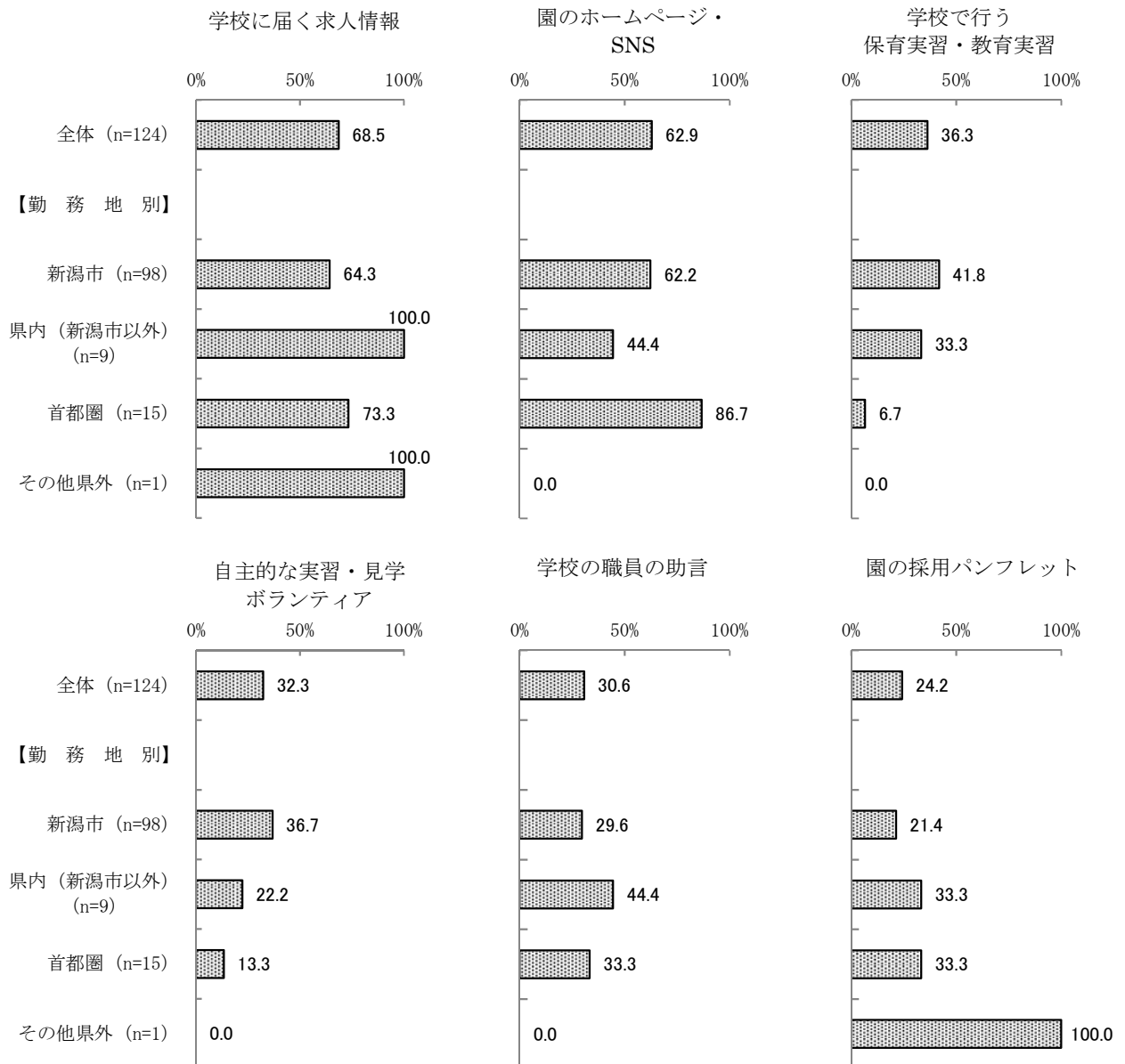
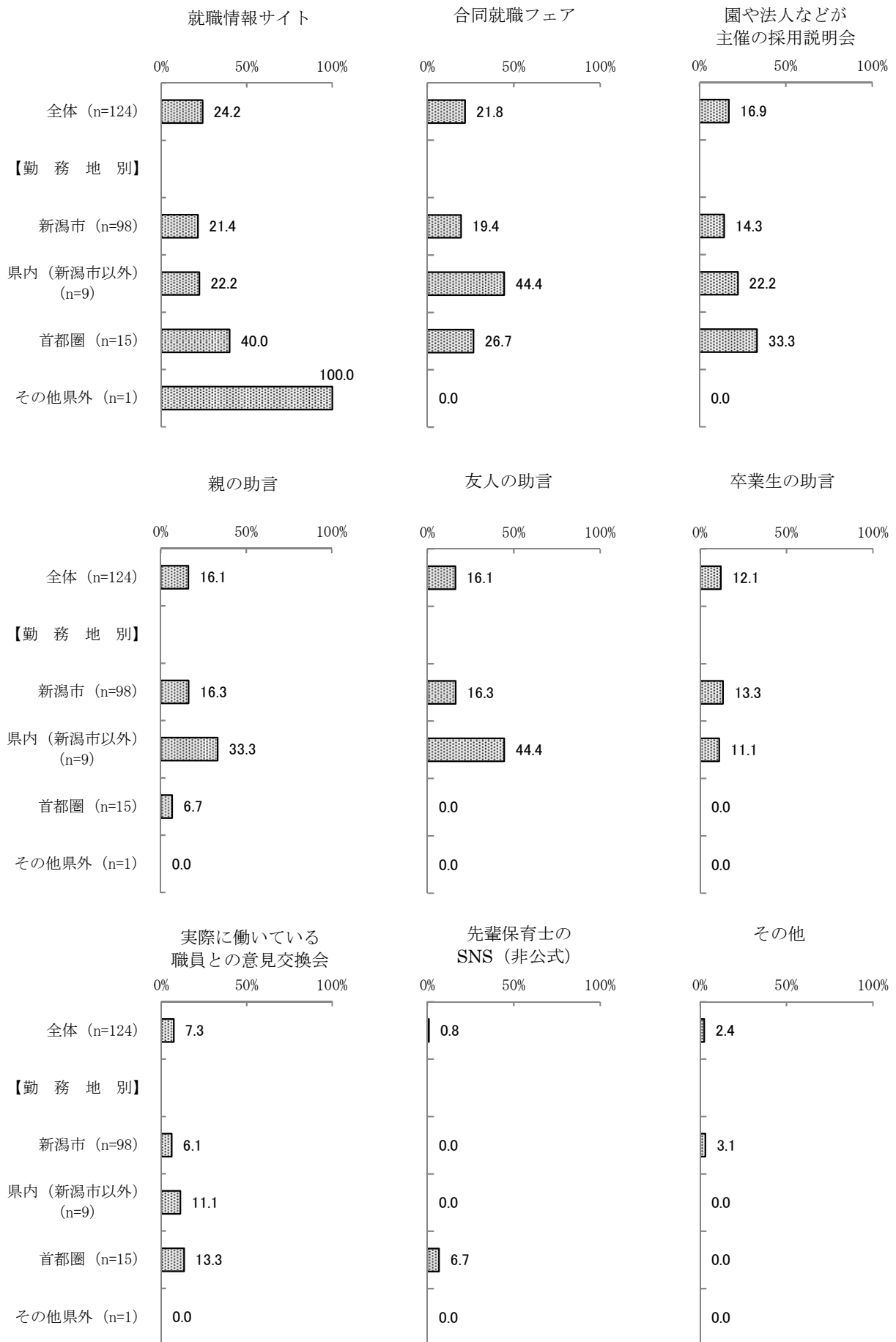
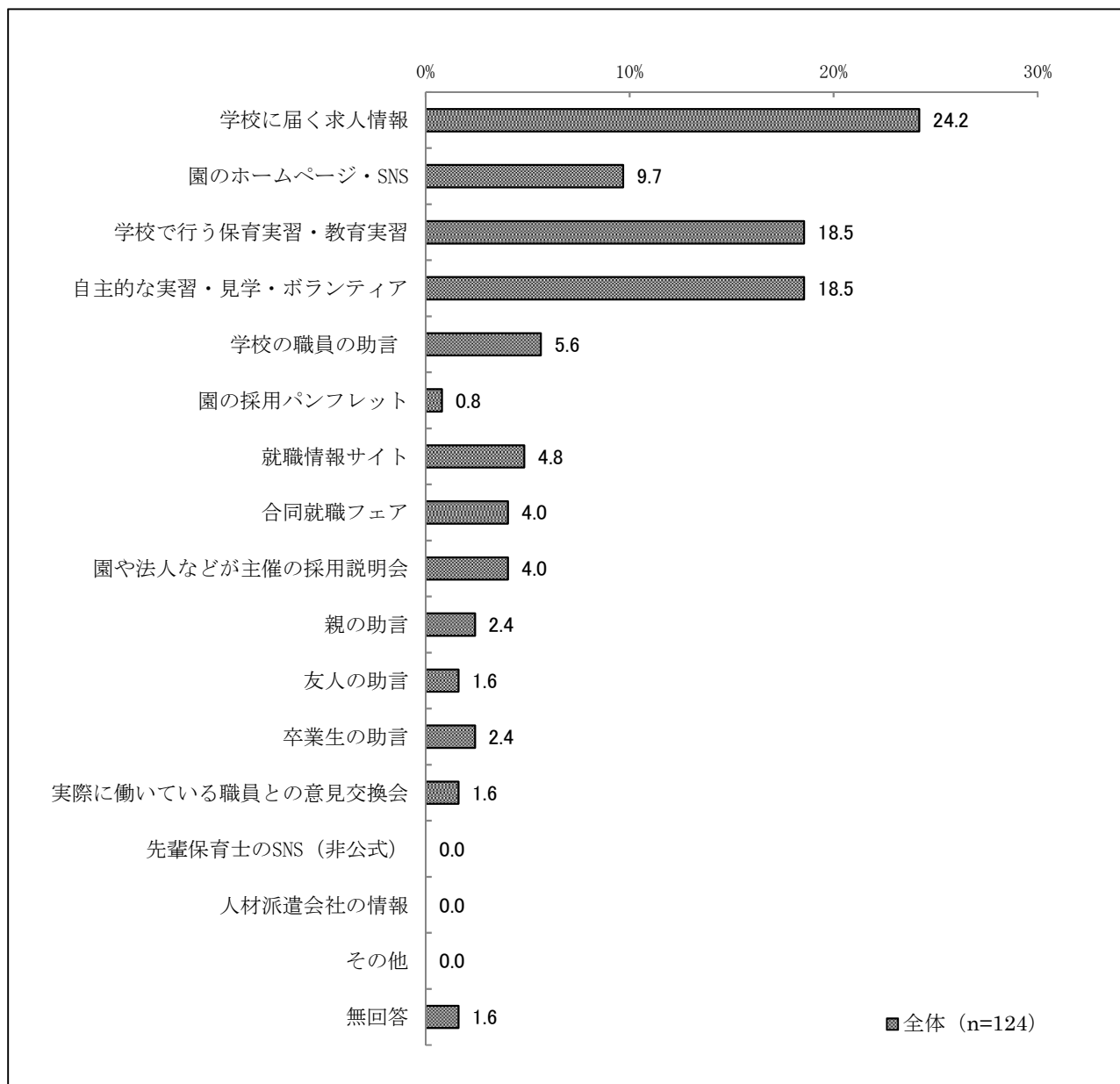


図 2-3 就職活動における情報の入手先（勤務地別） 2/2



(4) 最も参考にした情報の入手先

問9 【問8で選んだもののうち、最も参考にした方法を1つ選んでください】



— 『学校に届く求人情報』(24.2%) が最も高い —

【全体結果】

全体では、「学校に届く求人情報」(24.2%)の割合が最も高く、次いで「学校で行う保育実習・教育実習」、「自主的な実習・見学・ボランティア」(いずれも18.5%)、「園のホームページ・SNS」(9.7%)の順に割合が高い。

【勤務地別結果】（図 2-4 参照）

新潟市に勤務する人では、他の地域と比べ「学校で行う実習・教育実習」（22.4%）、「自主的な実習・見学・ボランティア」（20.4%）の割合が高く、実際に施設に訪れた際の経験が、勤務先を選ぶ際に影響していることが伺える。

首都圏に勤務する人では、「学校で行う実習・教育実習」と答えた人が一人もおらず、「園や法人などが主催の採用説明会」（26.7%）、「就職情報サイト」（20.0%）の割合が高い。学校以外で得た情報が強く影響している傾向にある。

図 2-4 最も参考にした情報の入手先（勤務地別） 1/2

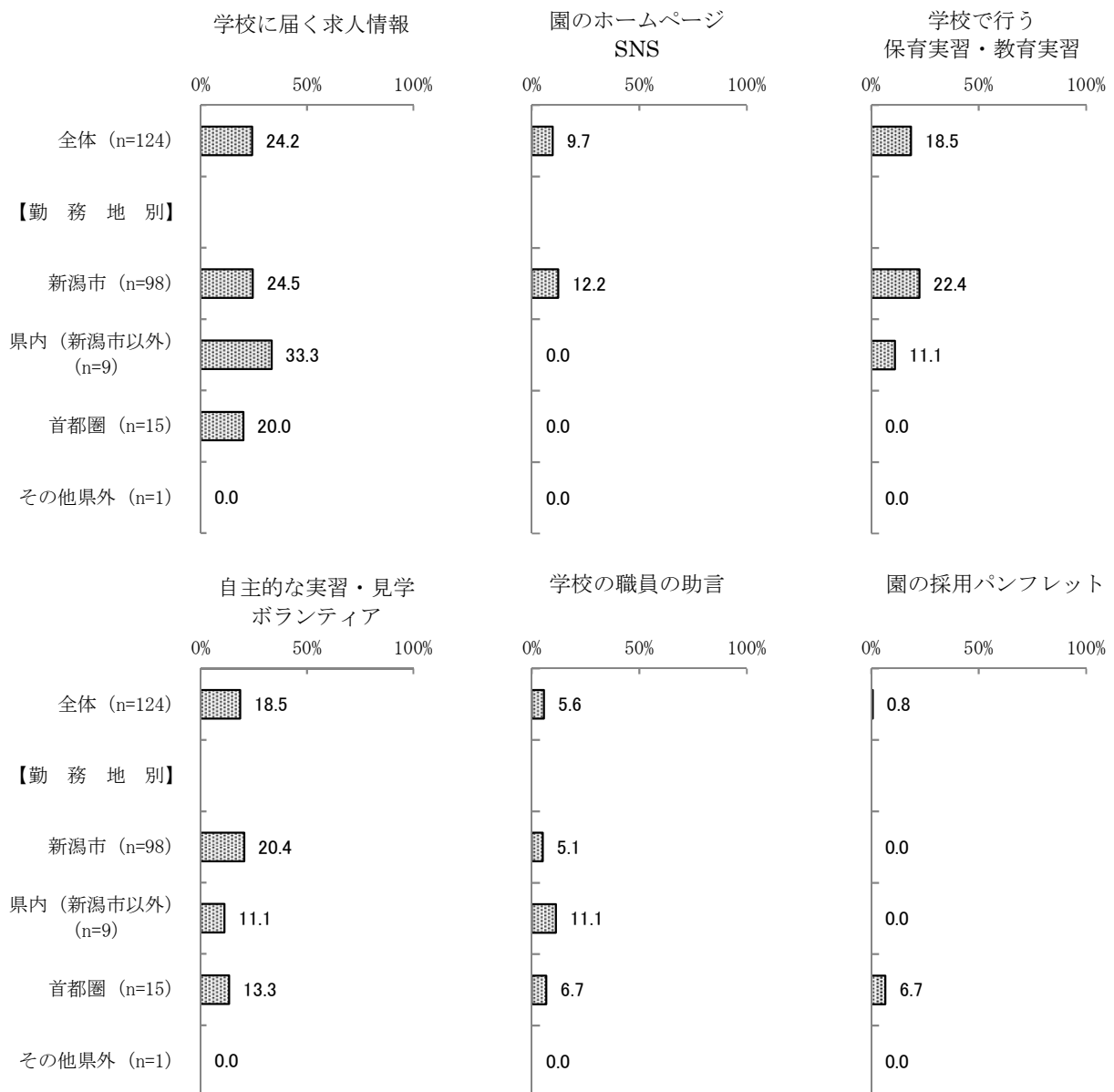
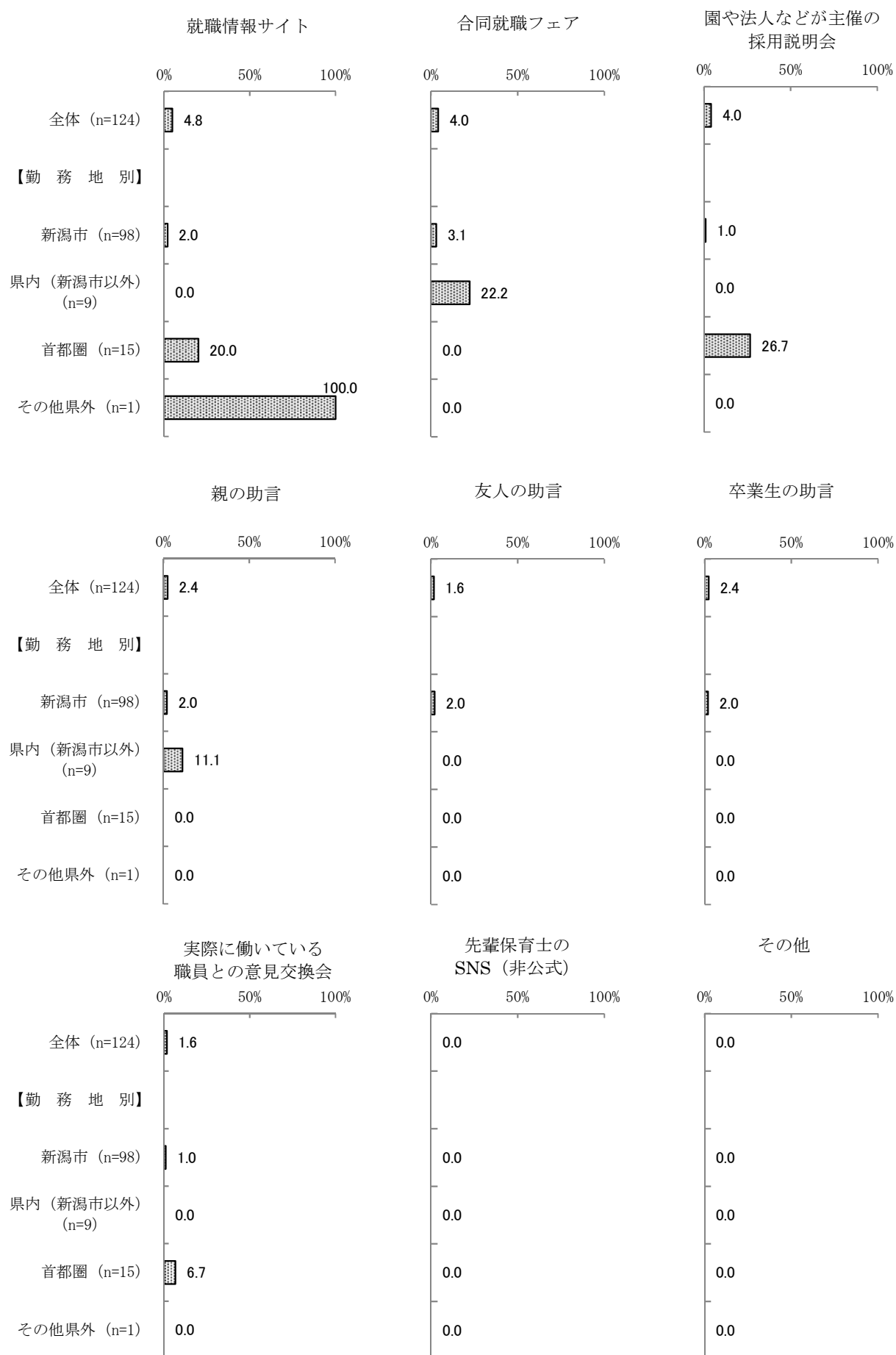


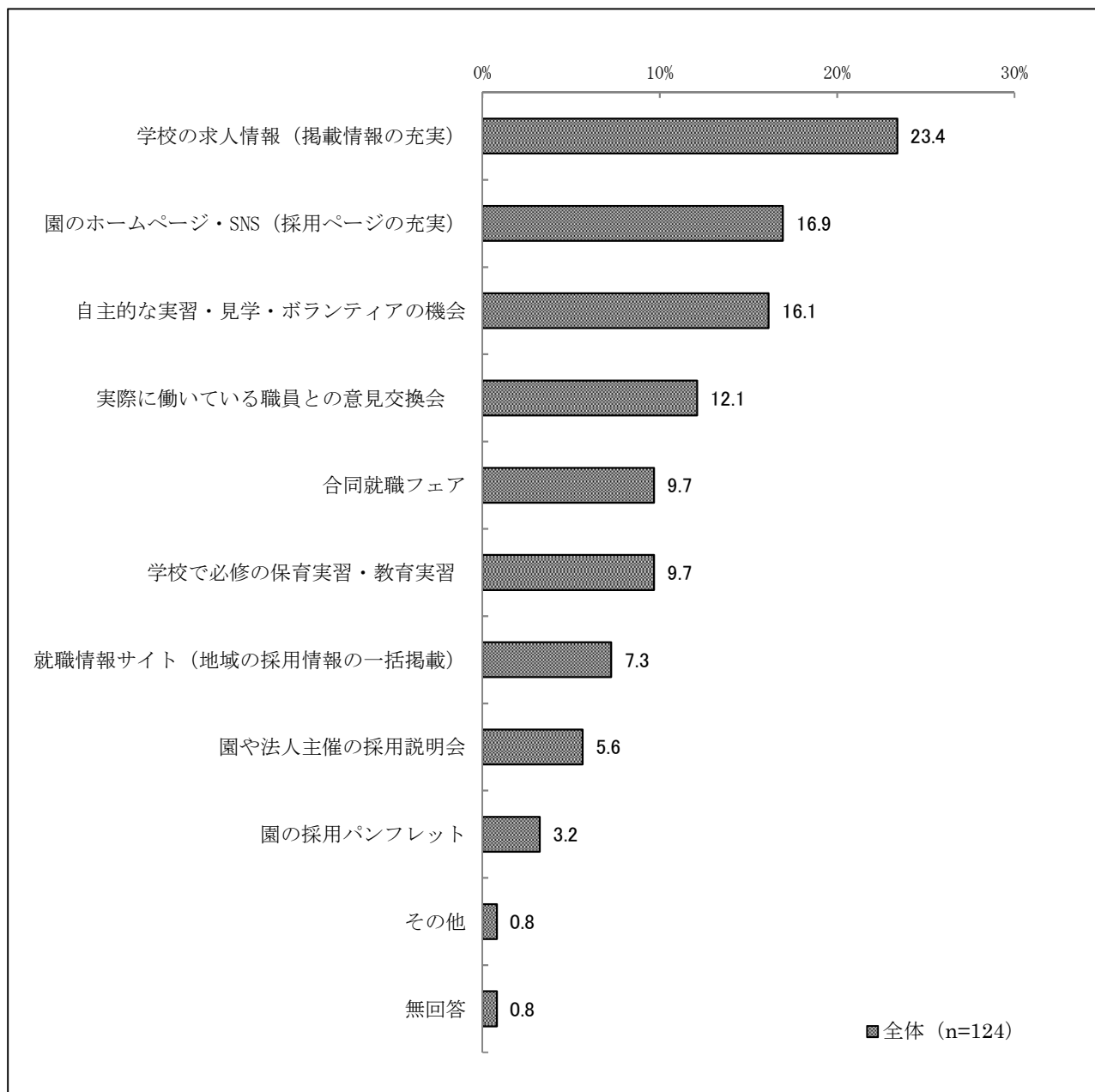
図 2-4-2 最も参考にした情報の入手先（出身地別/勤務地別）

2/2



(5) 就職活動の参考として、今後充実させるとよいと思うもの

問 10 就職活動の参考として、今後最も充実させるとよいと思うものを1つ選んでください



— 『学校の求人情報（掲載情報の充実）』（23.4%）が最も高い —

【全体結果】

全体では、「学校の求人情報（掲載情報の充実）」（23.4%）の割合が最も高く、次いで「園のホームページ・SNS（採用ページの充実）」（16.9%）、「自主的な実習・見学・ボランティアの機会」（16.1%）、「実際に働いている職員との意見交換会」（12.1%）の順に高い。

求人情報やホームページといった情報収集コンテンツの充実と、実習や意見交換会等によって現場の雰囲気を感じ取れる機会の増加の両面が求められている。

【勤務地別結果】（図 2-5 参照）

県内（新潟市以外）に勤務する人では、「学校の求人情報（掲載情報の充実）」と答えた人が一人もおらず、他の地域と比べ「自主的な実習・見学・ボランティアの機会」（33.3%）、「実際に働いている職員との意見交換会」（22.2%）の割合が高いことが特徴的であった。

図 2-5 就職活動の参考として、今後充実させるとよいと思うもの（勤務地別） 1/2

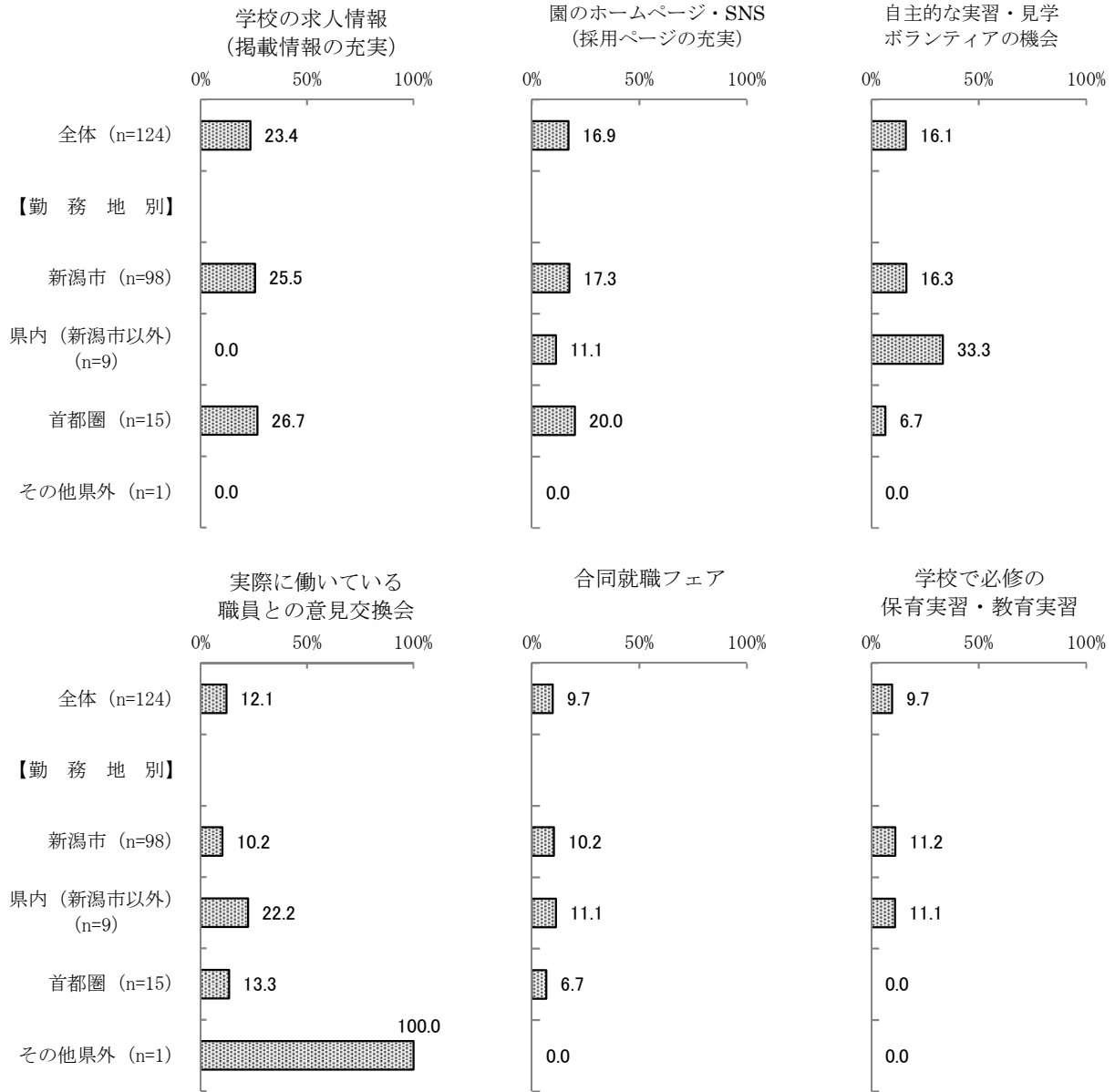
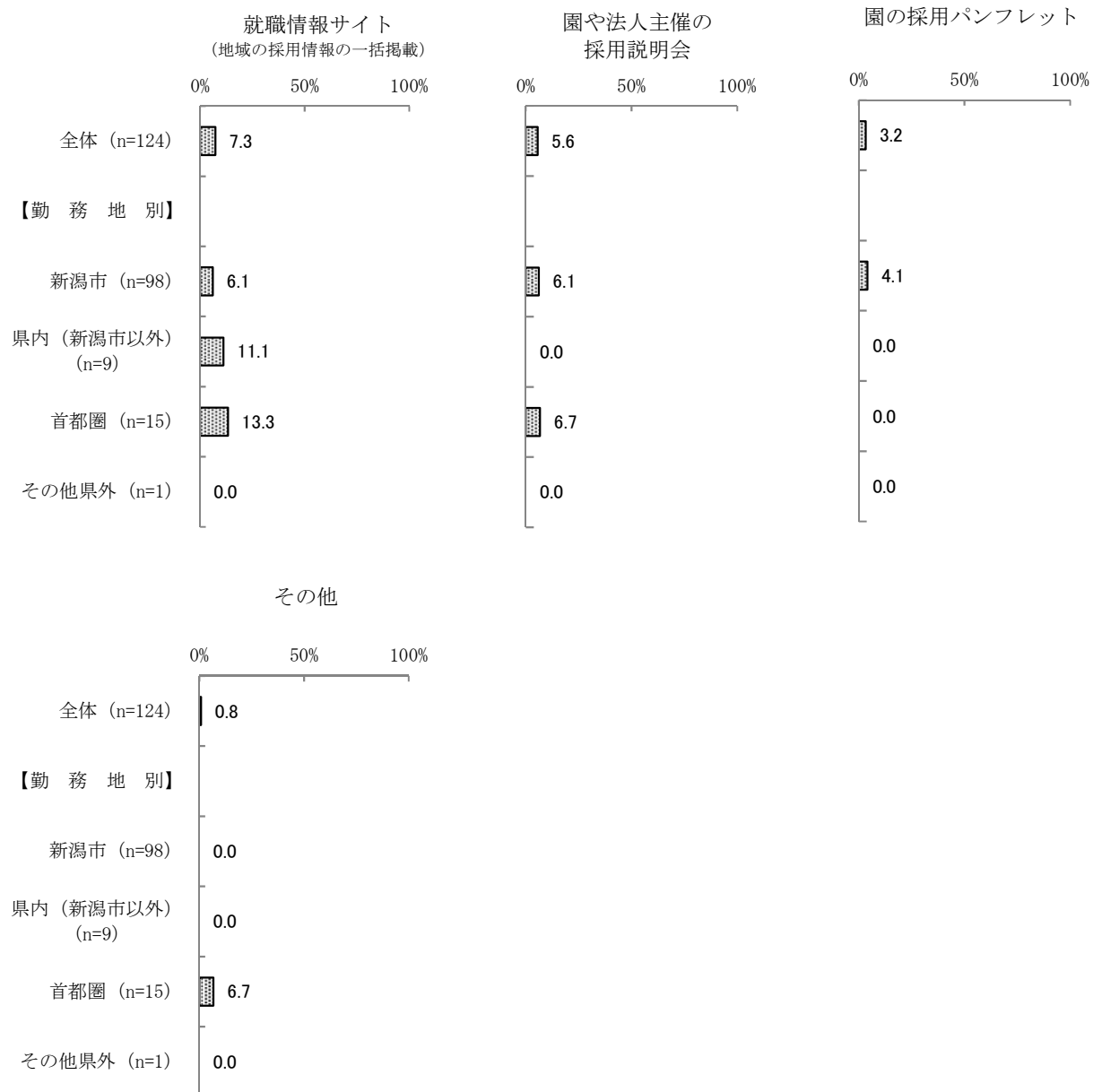
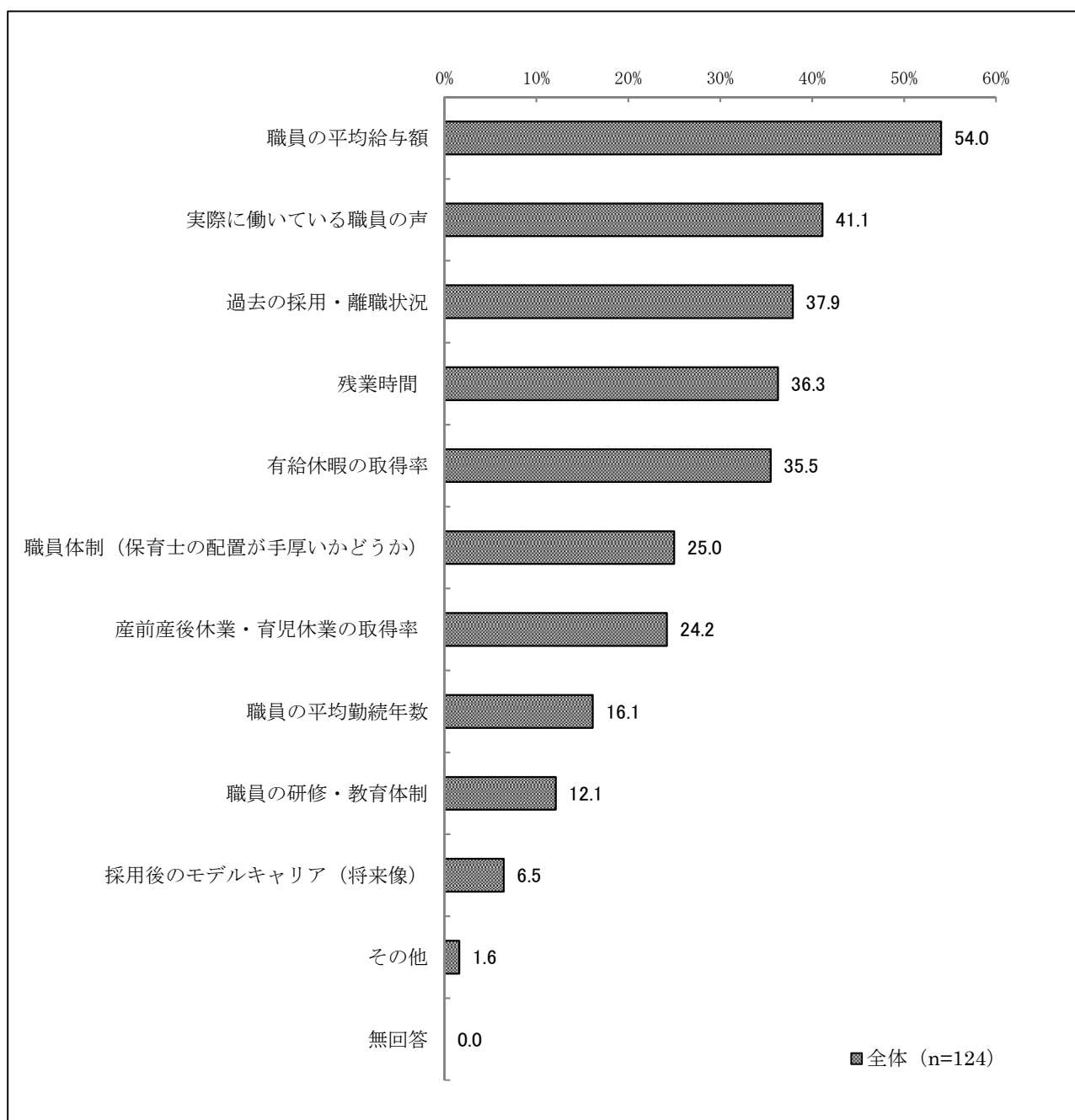


図 2-5 就職活動の参考として、今後充実させるとよいと思うもの（勤務地別） 2/2



(6) 就職先に公開してほしい情報

問 11 就職先に公開してほしい情報（気になる情報）を3つまで選んでください



— 『職員の平均給与額』(54.0%) が最も高く5割以上 —

【全体結果】

全体では、「職員の平均給与額」(54.0%)の割合が最も高く、次いで「実際に働いている職員の声」(41.1%)、「過去の採用・離職状況」(37.9%)、「残業時間」(36.3%)、「有給休暇の取得率」(35.5%)の順に高い。

【勤務地別結果】（図 2-6 参照）

県内（新潟市以外）に勤務する人は、「職員の平均給与額」と「残業時間」「有給休暇の取得率」「職員体制（保育士の配置が手厚いかどうか）」「産前産後休業育児休業の取得率」（いずれも 44.4%）が同じ割合となり、他の地域と比べ『働き方』を重視している様子が伺えた。

首都圏に勤務する人は、他の地域と比べて「実際に働いている職員の声」の割合が最も高く、「職員の平均給与額」と同じ割合であった。

図 2-6 就職先に公開してほしい情報（勤務地別） 1/2

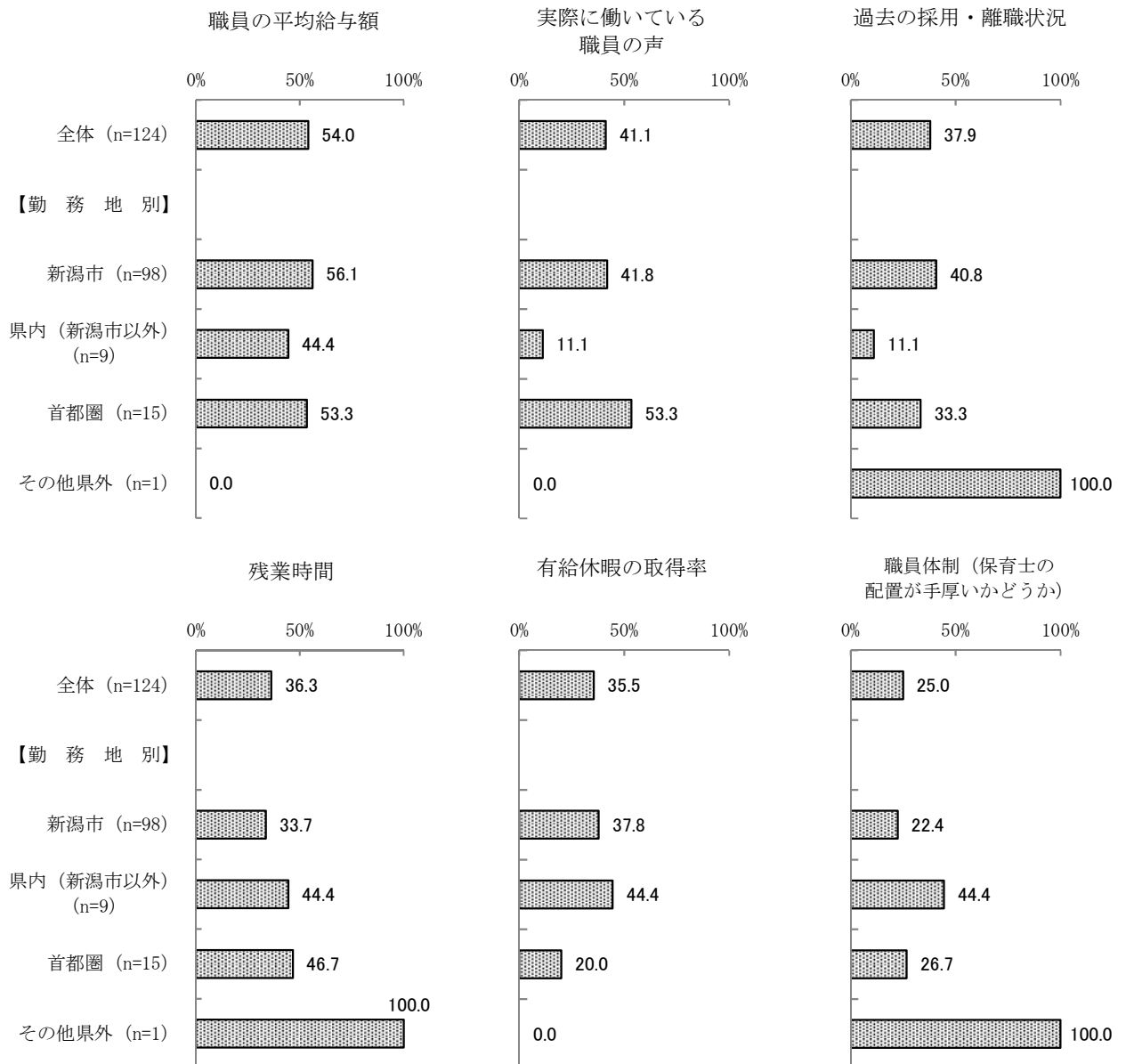
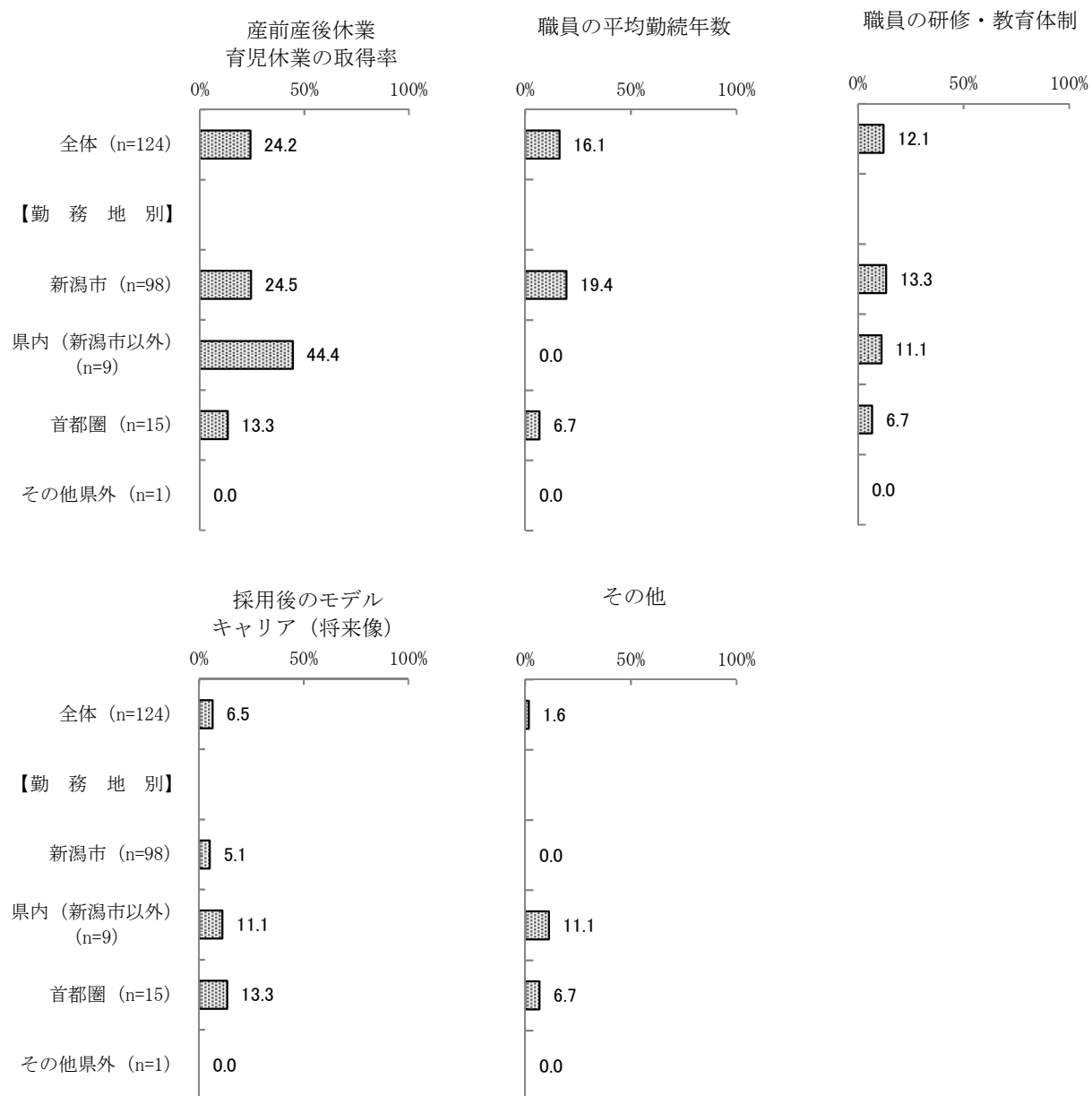
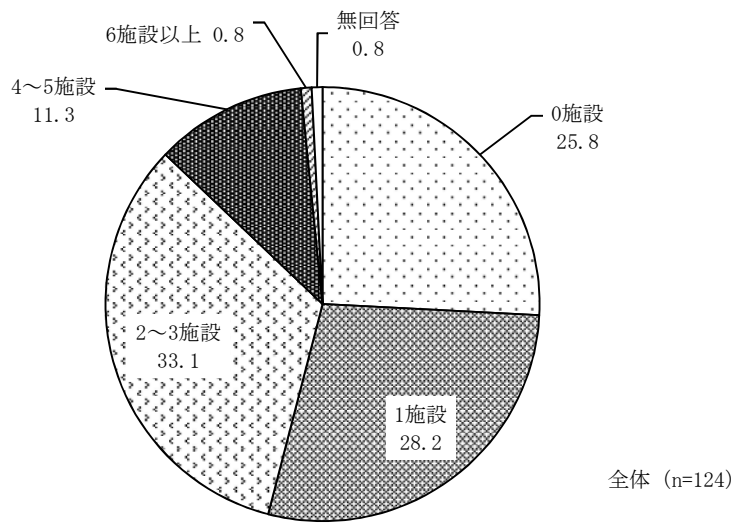


図 2-6 就職先に公開してほしい情報（勤務地別） 2/2



(7) 実習や見学・ボランティアに参加した施設数

問 12 学校で必修の保育・教育実習以外に、就職活動の参考として自主的に実習や見学・ボランティアに参加した先の施設数を選んでください



— 『1施設以下』が5割以上、『3施設以下』が9割近く —

【全体結果】

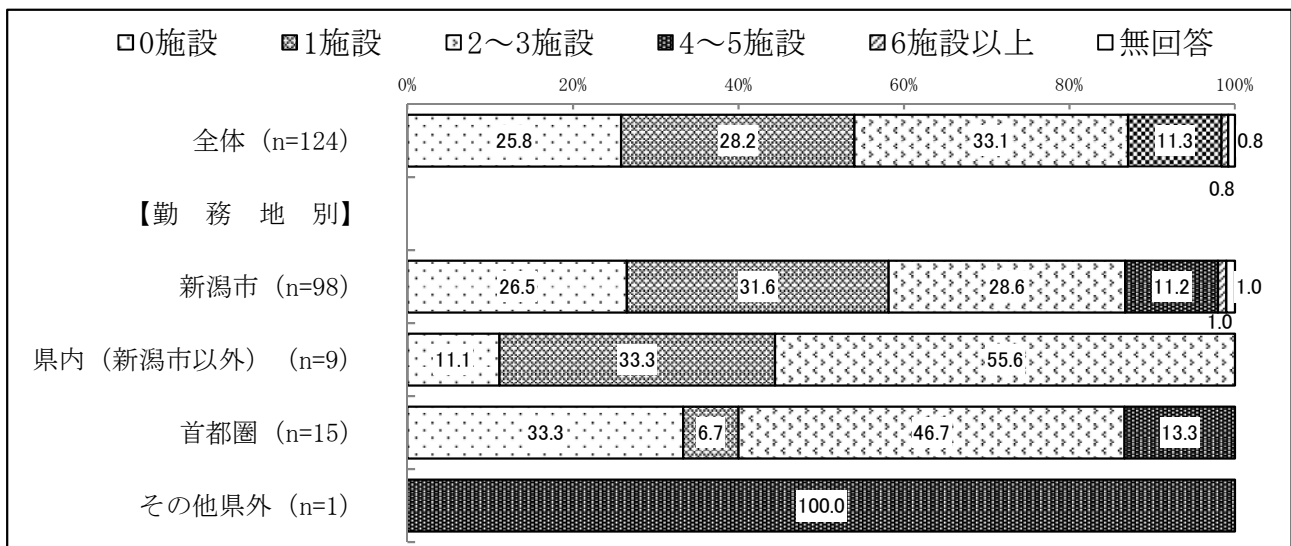
全体では、「2～3施設」(33.1%)の割合が最も高く、次いで「1施設」(28.2%)、「0施設」(25.8%)の順となった。

1施設以下(54.0%)で5割を超し、3施設以下(87.1%)で9割近くとなった。

【勤務地別結果】(図2-7参照)

新潟市に勤務する人では、1施設以下の割合が58.2%と6割近くとなるが、県内(新潟市以外)では44.4%、首都圏では40.0%となり、2施設以上参加している人の割合が5割を超えた。

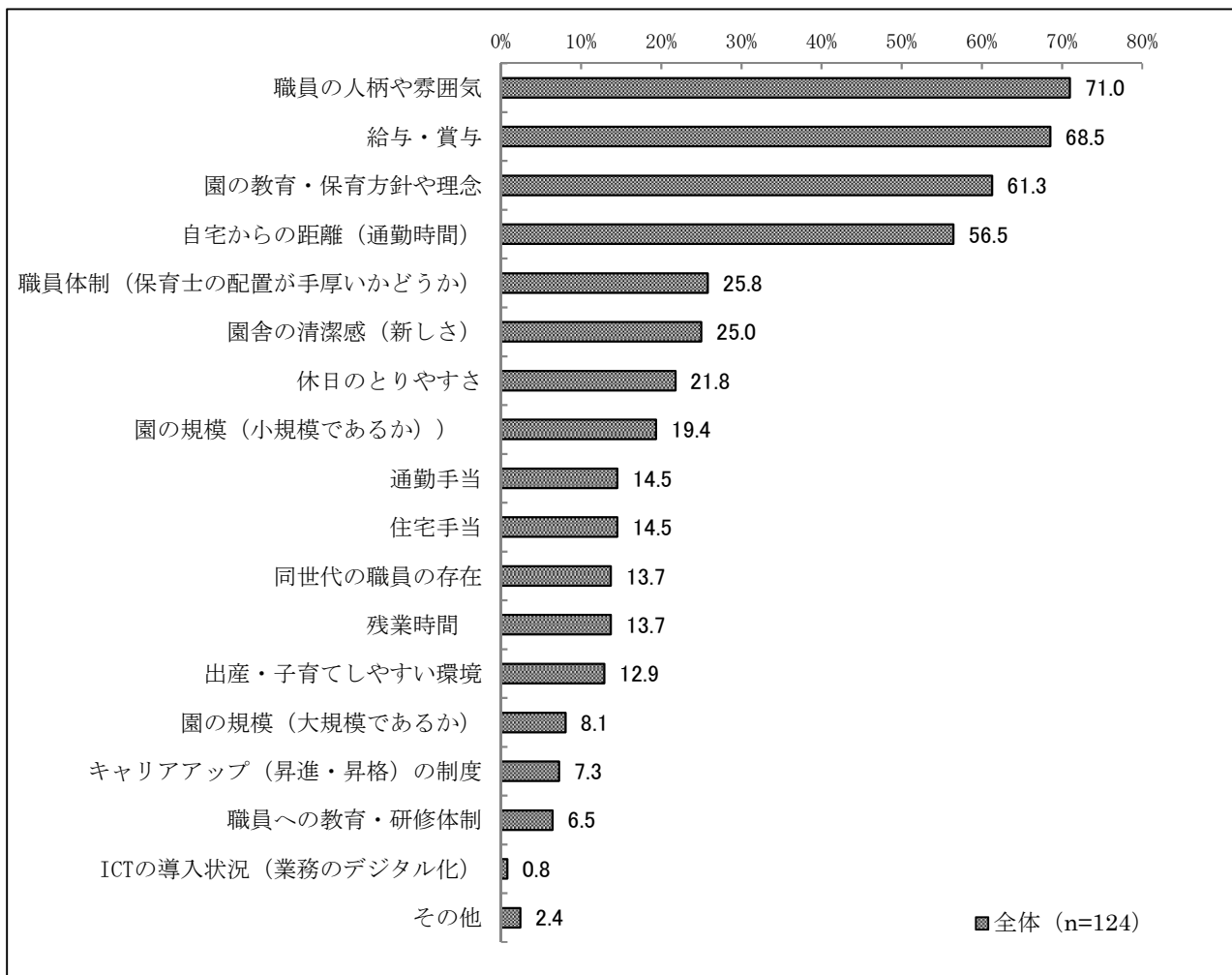
図2-7 実習や見学・ボランティアに参加した施設数(勤務地別)



3. 就職先の決定について

(1) 就職先を決めるにあたって重視したもの

問 14 就職先を決めるにあたって重視したものを全て選んでください（複数回答）



— 『職員の人柄や雰囲気』（71.0%）が最も高く7割以上 —

【全体結果】

全体では、「職員の人柄や雰囲気」（71.0%）の割合が最も高く、次いで「給与・賞与」（68.5%）、「園の教育・保育方針や理念」（61.3%）、「自宅から距離（通勤時間）」（56.5%）の順となった。

【勤務地別結果】（図 3-1 参照）

新潟市や県内（新潟市以外）に勤務する人では、「自宅からの距離」（それぞれ 64.3%、66.7%）の割合が6割を超えた。首都圏に勤務する人は全員が「給与・賞与」（100.0%）と答えている。また、「住宅手当」（93.3%）の割合も高い。経済的な点を重視して就職先を決めている姿が伺える。

図 3-1 就職先を決めるにあたって重視したもの（勤務地別）

1/2

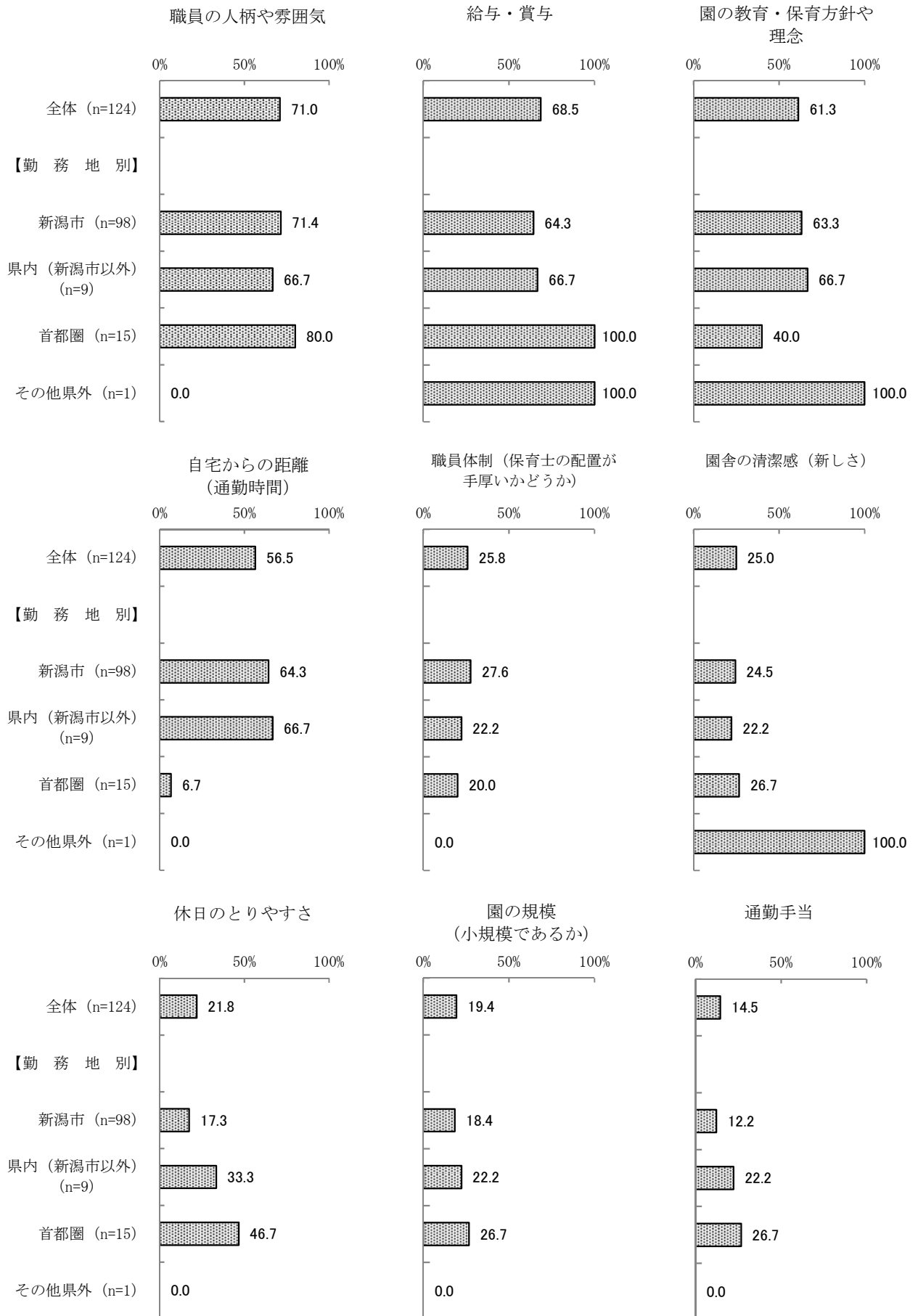
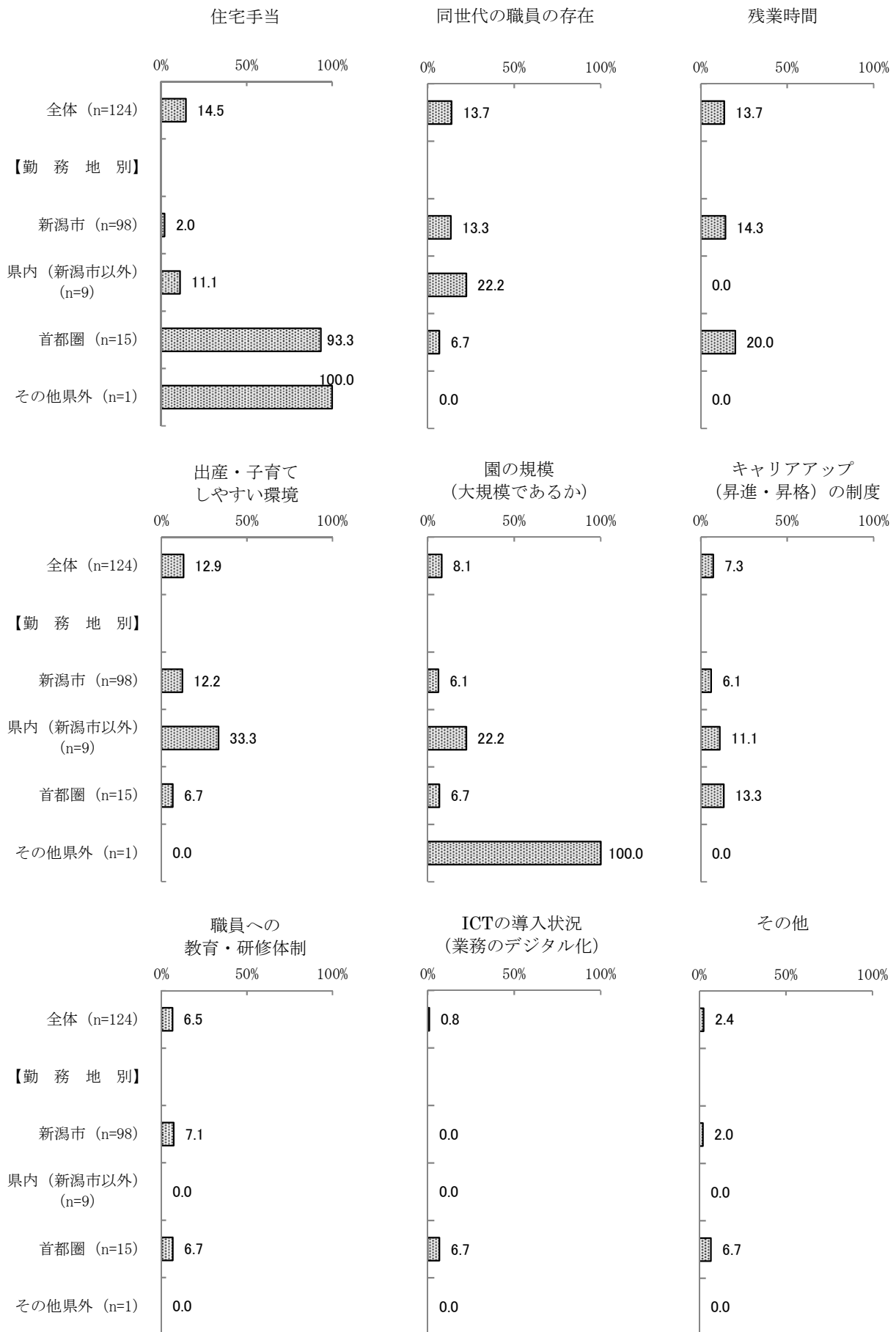


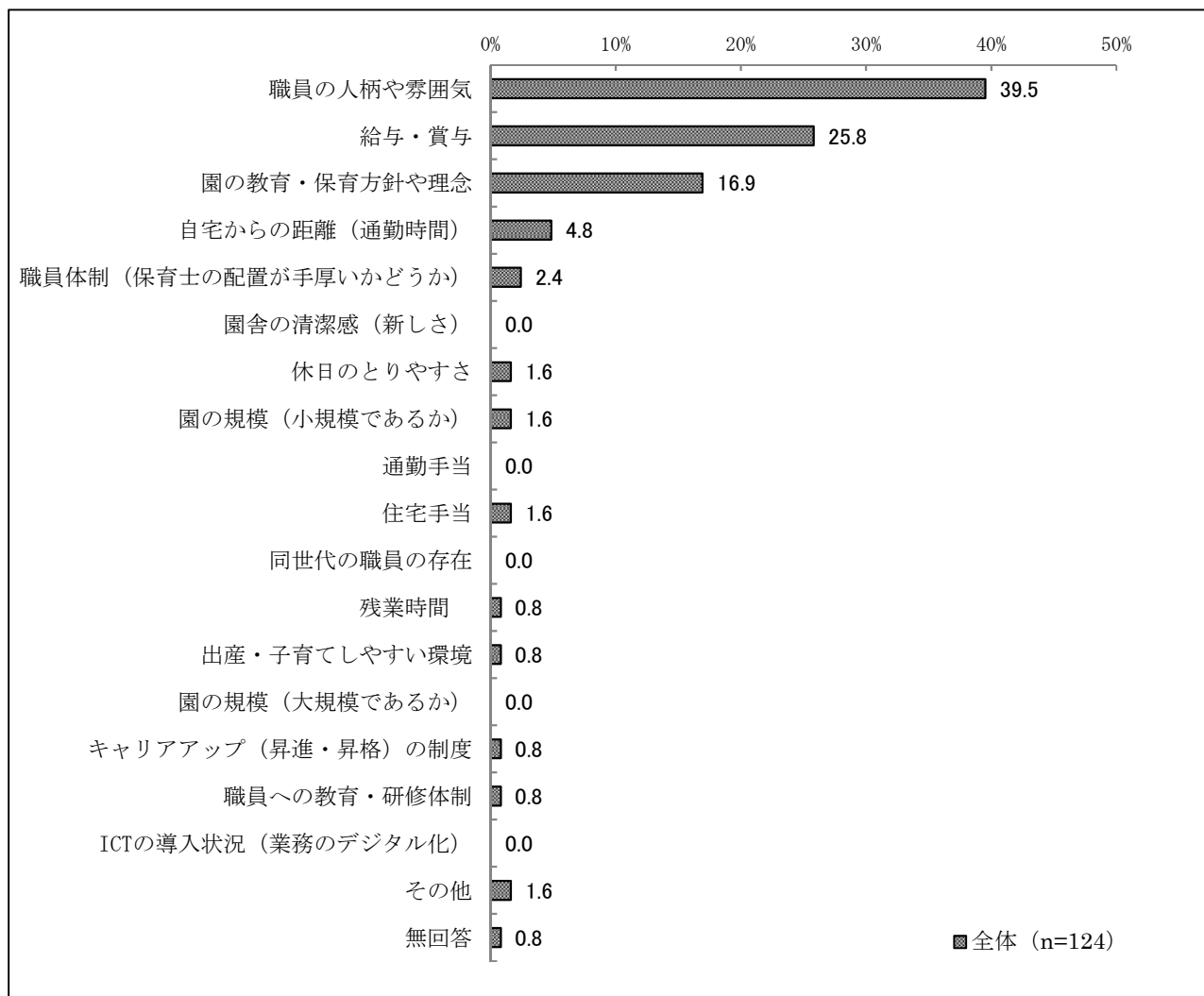
図 3-1 就職先を決めるにあたって重視したもの（勤務地別）

2/2



(2) 就職先を決めるにあたって最も重視したもの

問 15 【問 14 の中で、最も重視したものを 1 つ選んでください】



— 『職員の人柄や雰囲気』(39.5%) が最も高く約 4 割 —

【全体結果】

全体では、「職員の人柄や雰囲気」(39.5%) の割合が最も高く、次いで「給与・賞与」(25.8%)、「園の教育・保育方針や理念」(16.9%) の順となった。

【勤務地別結果】(図 3-2 参照)

重視した点で全員が「給与・賞与」と答えていた首都圏に勤務する人でも、最も重視する点としては、「職場の人柄や雰囲気」(46.7%) の割合が最も高かった。

図 3-2 就職先を決めるにあたって最も重視したもの（勤務地別）

1/2

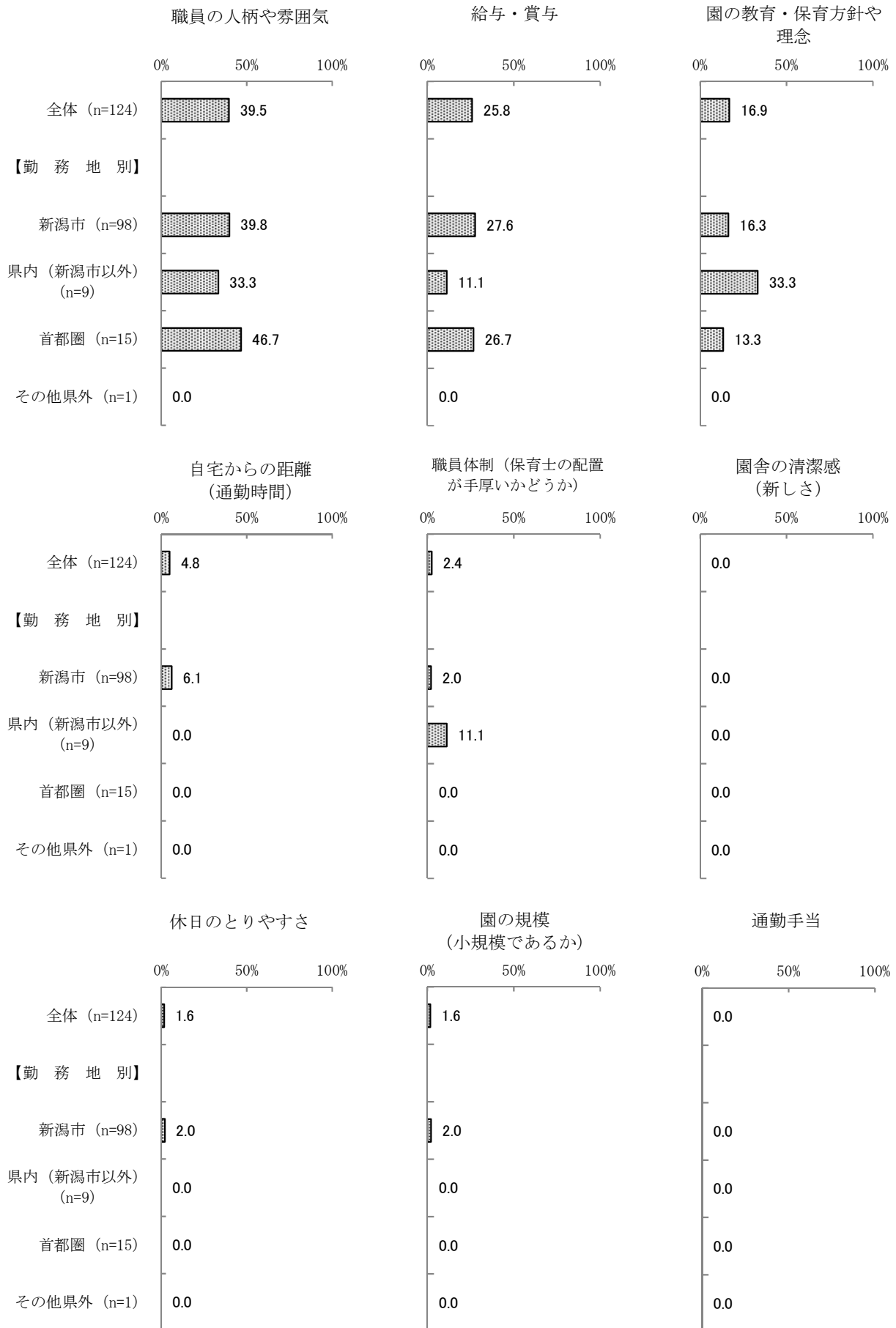
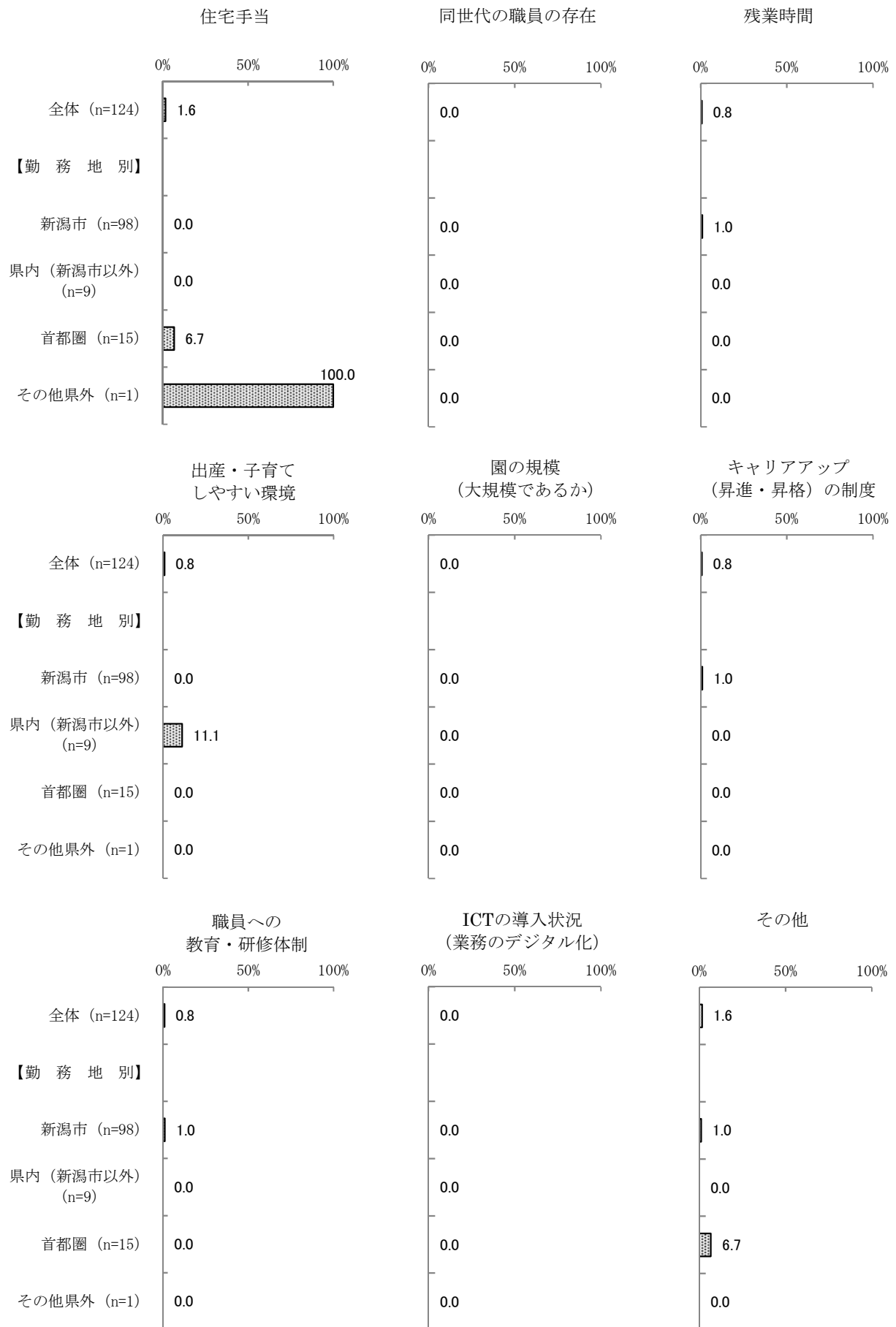
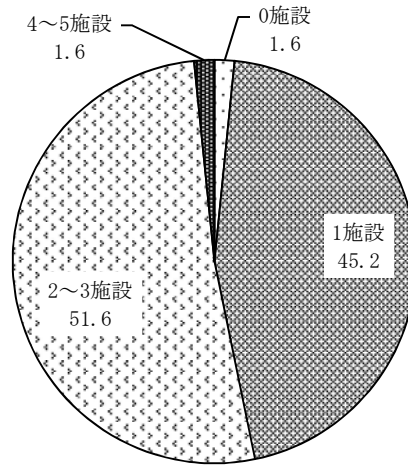


図 3-2 就職先を決めるにあたって最も重視したもの（勤務地別）



(3) 就職したい候補として残った施設数

問 16 就職活動を進める中で実際に就職したい候補として残った施設数を選んでください
 ※「市町村の保育士・幼稚園教諭採用募集」や「複数の園を運営する法人の採用募集」については1施設とカウントしてください



— 『1施設』が5割弱 —

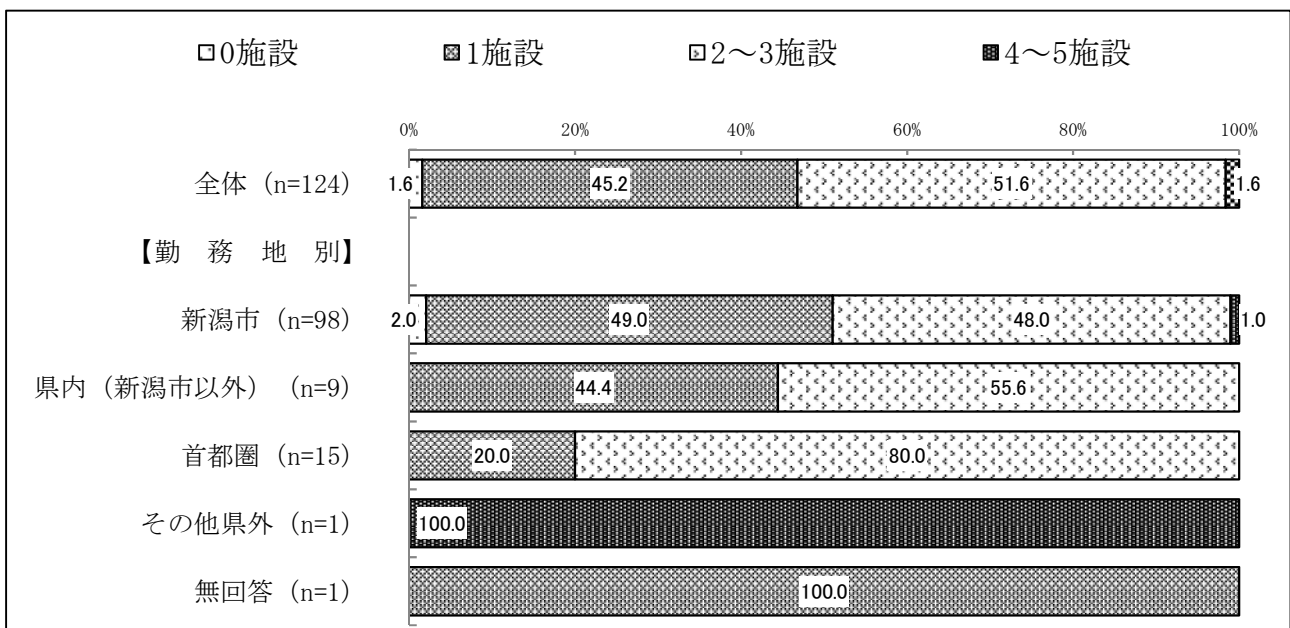
【全体結果】

全体では、「2~3施設」(51.6%)の割合が最も高いが、次いで「1施設」(45.2%)が5割弱であり、就職候補の施設を複数確保できていない人が多い。

【勤務地別結果】(図3-3参照)

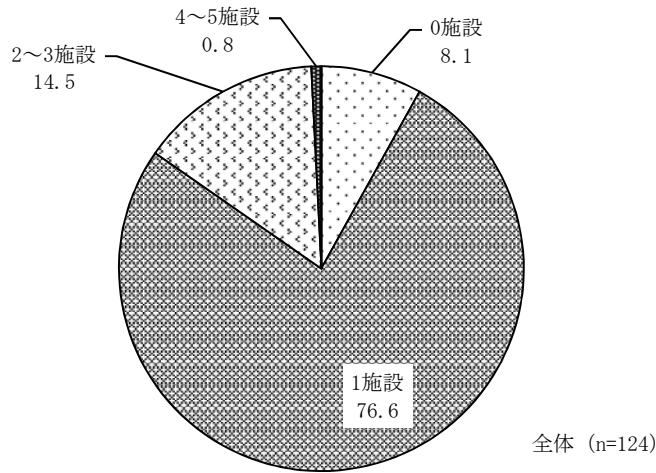
首都圏に勤務する人では、「2~3施設」(80.0%)の割合が高く8割となった。

図3-3 就職したい候補として残った施設数(勤務地別)



(4) 応募した施設数

問 17 【問 16 のうち、実際に募集に申し込んだ施設数を選んでください】



— 『1施設』が8割弱、『3施設以下』でほとんどを占める —

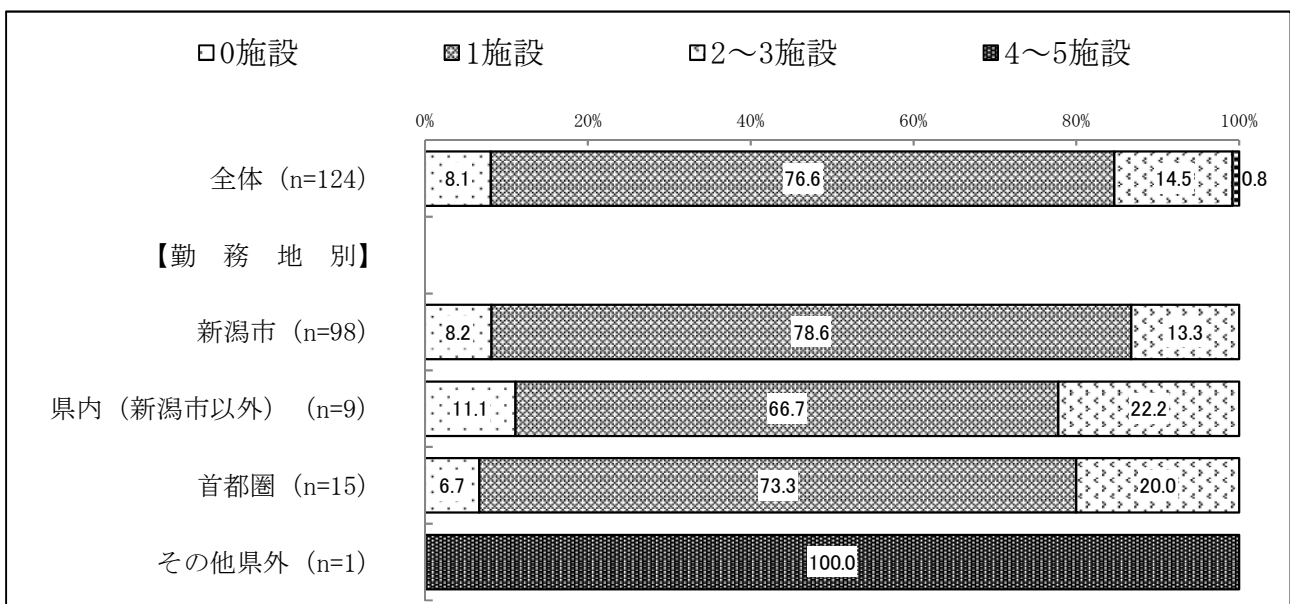
【全体結果】

全体では、「1施設」(76.6%)の割合が最も高く、次いで「2~3施設」(14.5%)となり、3施設以下でほとんどを占める。

【勤務地別結果】(図 3-4 参照)

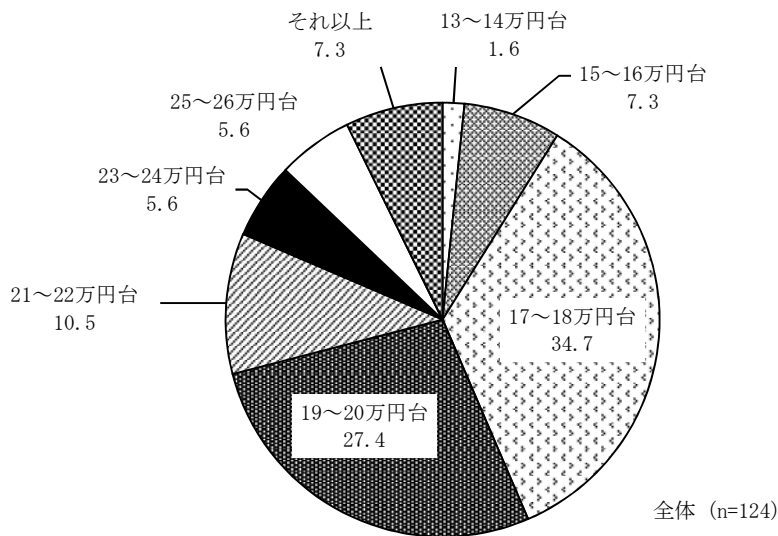
「2~3施設」の割合は、県内(新潟市以外)(22.2%)、首都圏(20.0%)で、新潟市(13.3%)と比較して割合が高かった。

図 3-4 応募した施設数 (勤務地別)



(5) 1年目の月給（額面）として欲しいと思った金額

問 18 1年目の月給（額面）として欲しいと思った金額を1つ選んでください



— 『17~20万円台』で6割以上 —

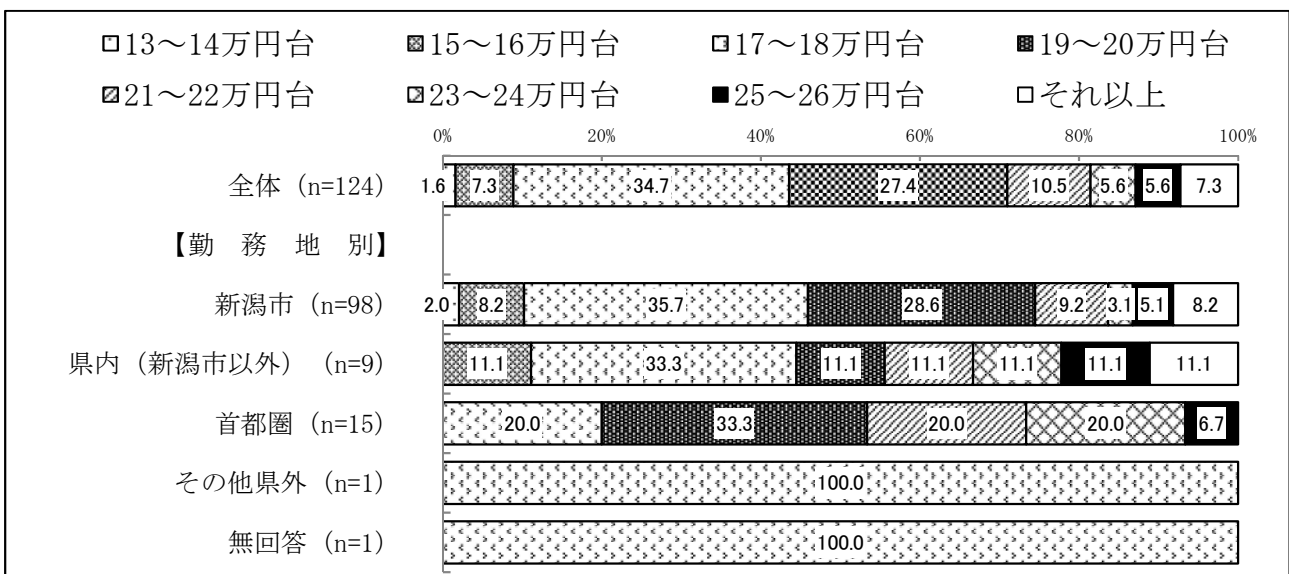
【全体結果】

全体では、「17~18万円台」(34.7%)の割合が最も高く、次いで「19~20万円台」(27.4%)、「21~22万円台」(10.5%)の順となった。17~20万円台の合計(62.1%)で6割を超した。

【勤務地別結果】(図3-5参照)

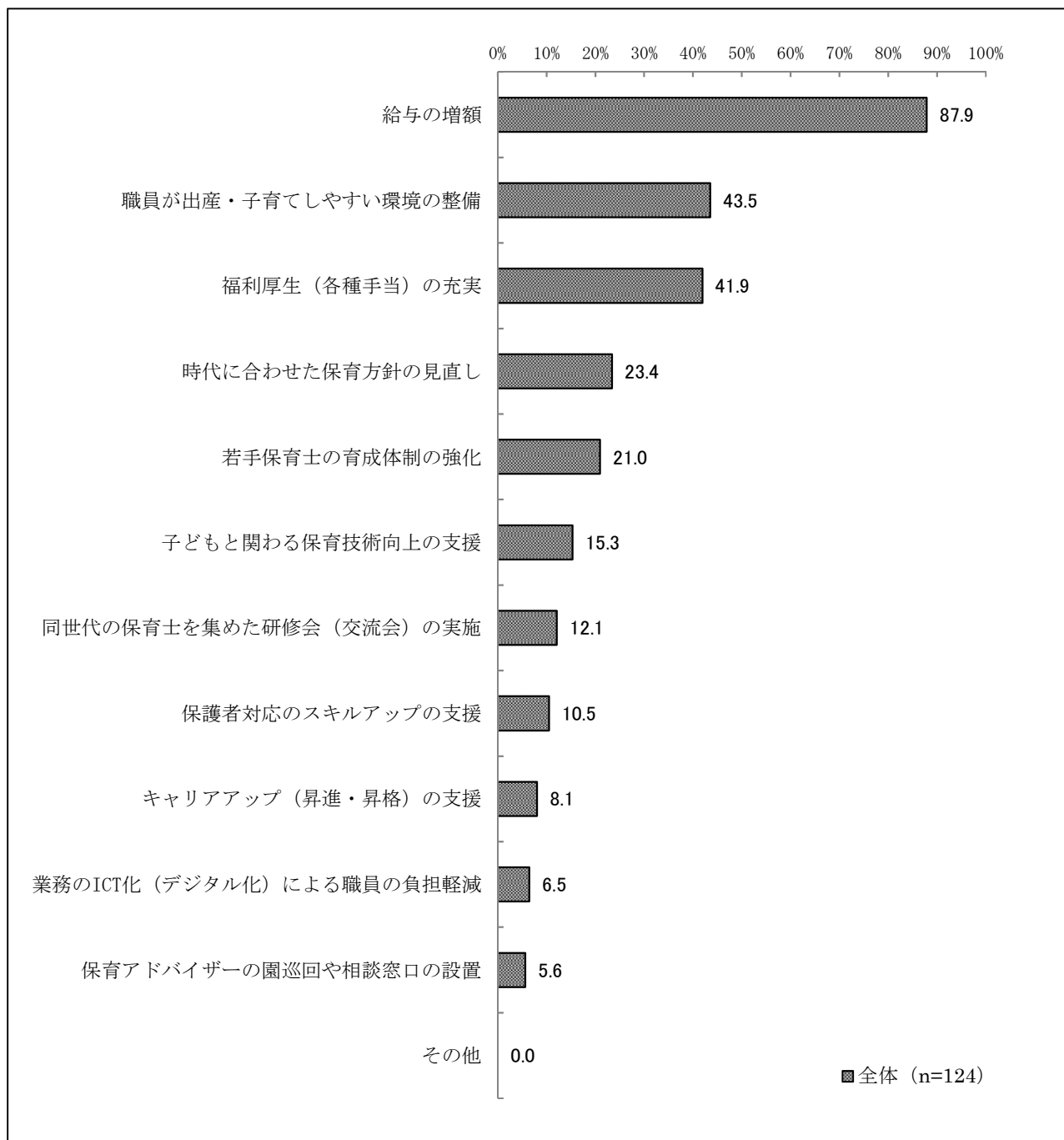
首都圏に勤務する人では、「16万円以下」と答えた人は一人もいなかった。「19万円以上」(80.0%)で8割を占め、新潟市や県内(新潟市以外)と比べ高い金額となっている。

図3-5 1年目の月給（額面）として欲しいと思った金額（勤務地別）



(6) 新潟の園の魅力を高めるために必要だと思うこと

問 19 就職先としての新潟の園の魅力を高めるために必要だと思うことを3つまで選んでください



— 『給与の増額』（87.9%）が9割弱 —

【全体結果】

全体では、「給与の増額」（87.9%）の割合が最も高く、次いで「職員が出産・子育てしやすい環境の整備」（43.5%）、「福利厚生（各種手当）の充実」（41.9%）の割合が高い。給与面の改善だけでなく、待遇面の魅力向上が望まれている。

【勤務地別結果】（図 3-6 参照）

どの勤務地でも「給与の増額」が最も割合が高く、首都圏（93.3%）では9割を超えている。首都圏では「若手保育士の育成体制の強化」（33.3%）が他の地域と比べ高いことも特徴的であった。

図 3-6 新潟の園の魅力をもとめるために必要だと思うこと（勤務地別） 1/2

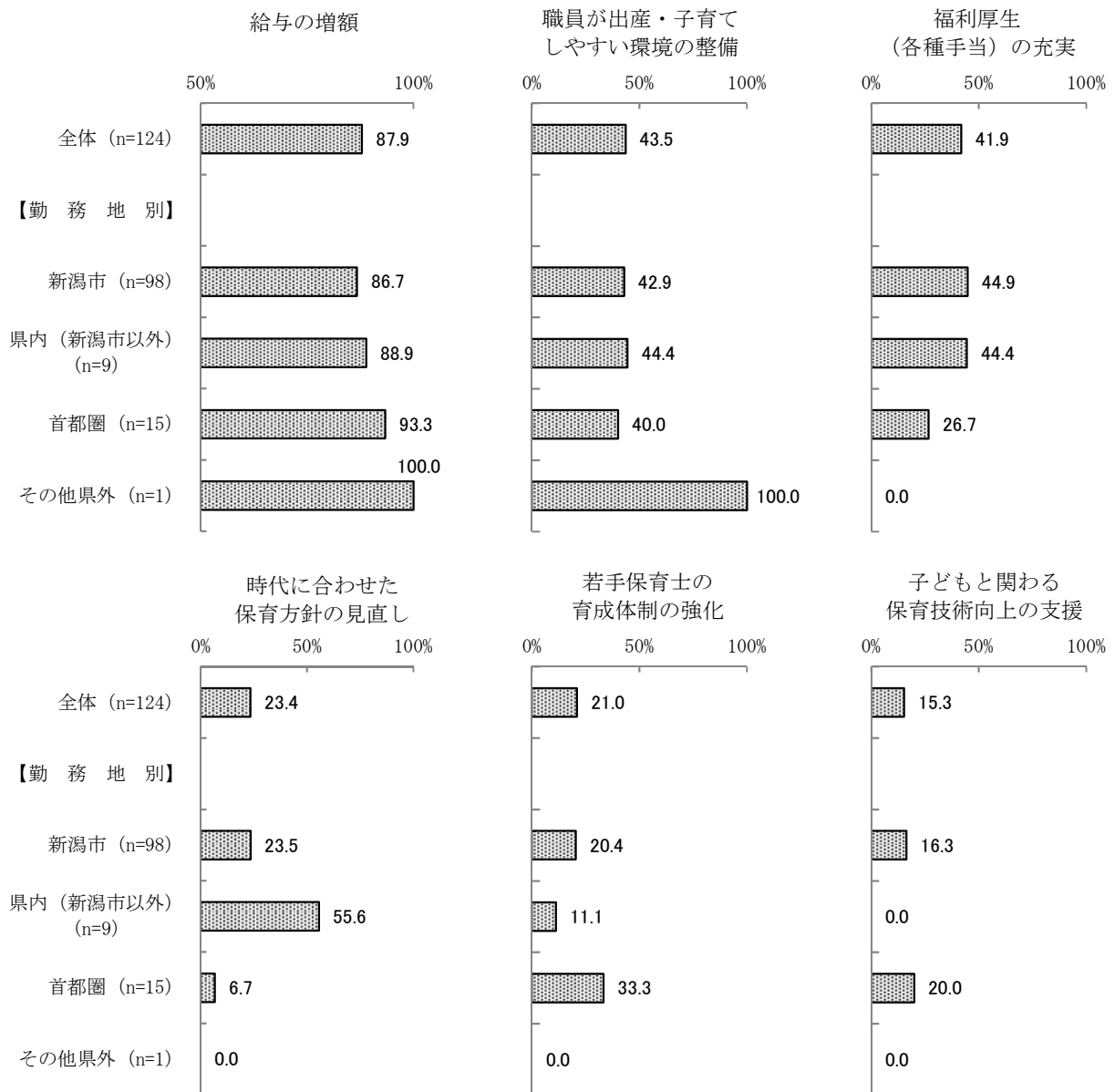
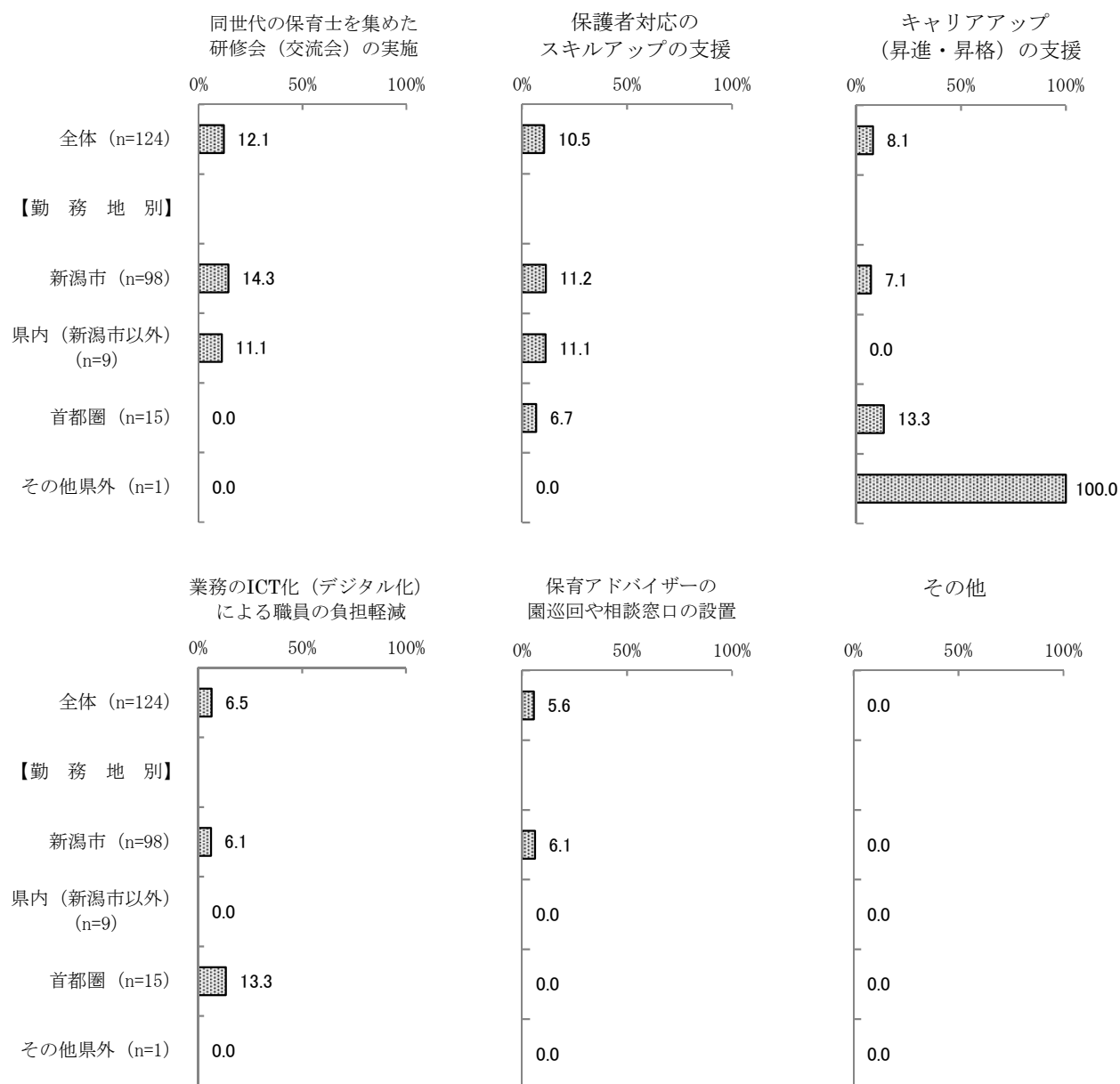


図 3-6 新潟の園の魅力をもつたために必要だと思うこと（勤務地別）

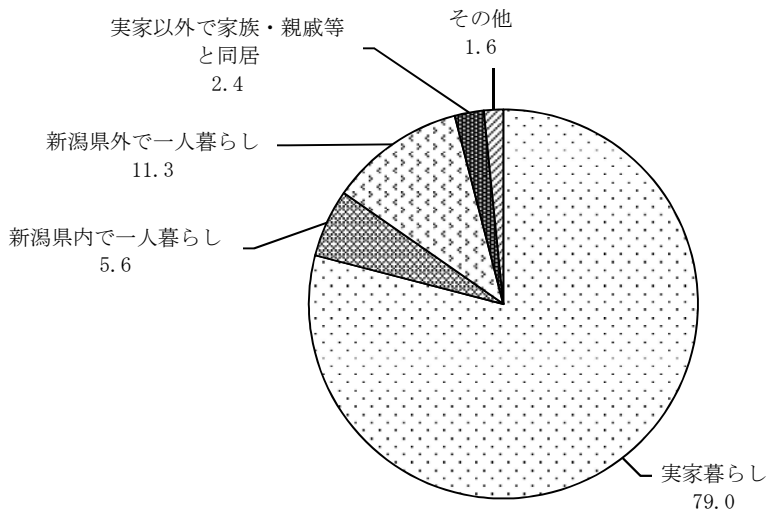
2/2



4. 住まいについて

(1) 4月からの住まい

問 21 4月からの住まいの予定や希望について1つ選んでください



— 『実家暮らし』が約8割 —

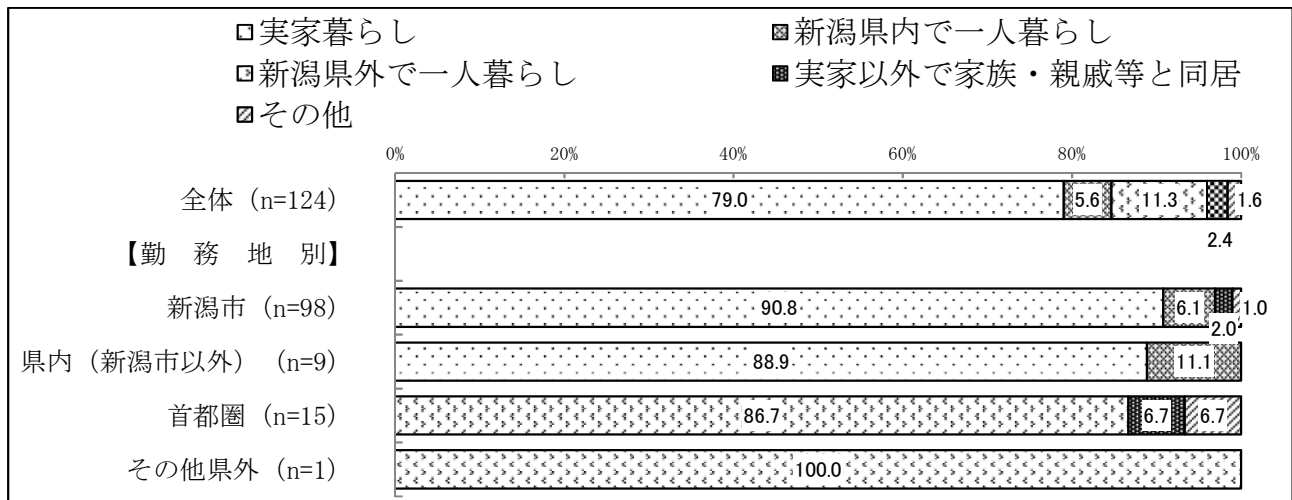
【全体結果】

全体では、「実家暮らし」(79.0%)の割合が最も高く約8割となった。次いで「新潟県内で一人暮らし」(5.6%)、「新潟県外で一人暮らし」(11.3%)の順となり、一人暮らしをする人は合計で16.9%となった。

【勤務地別結果】(図4-1参照)

新潟市に勤務する人の約9割(90.8%)は「実家暮らし」となる。
首都圏に勤務する人の約9割(86.7%)は、「一人暮らし」となる。

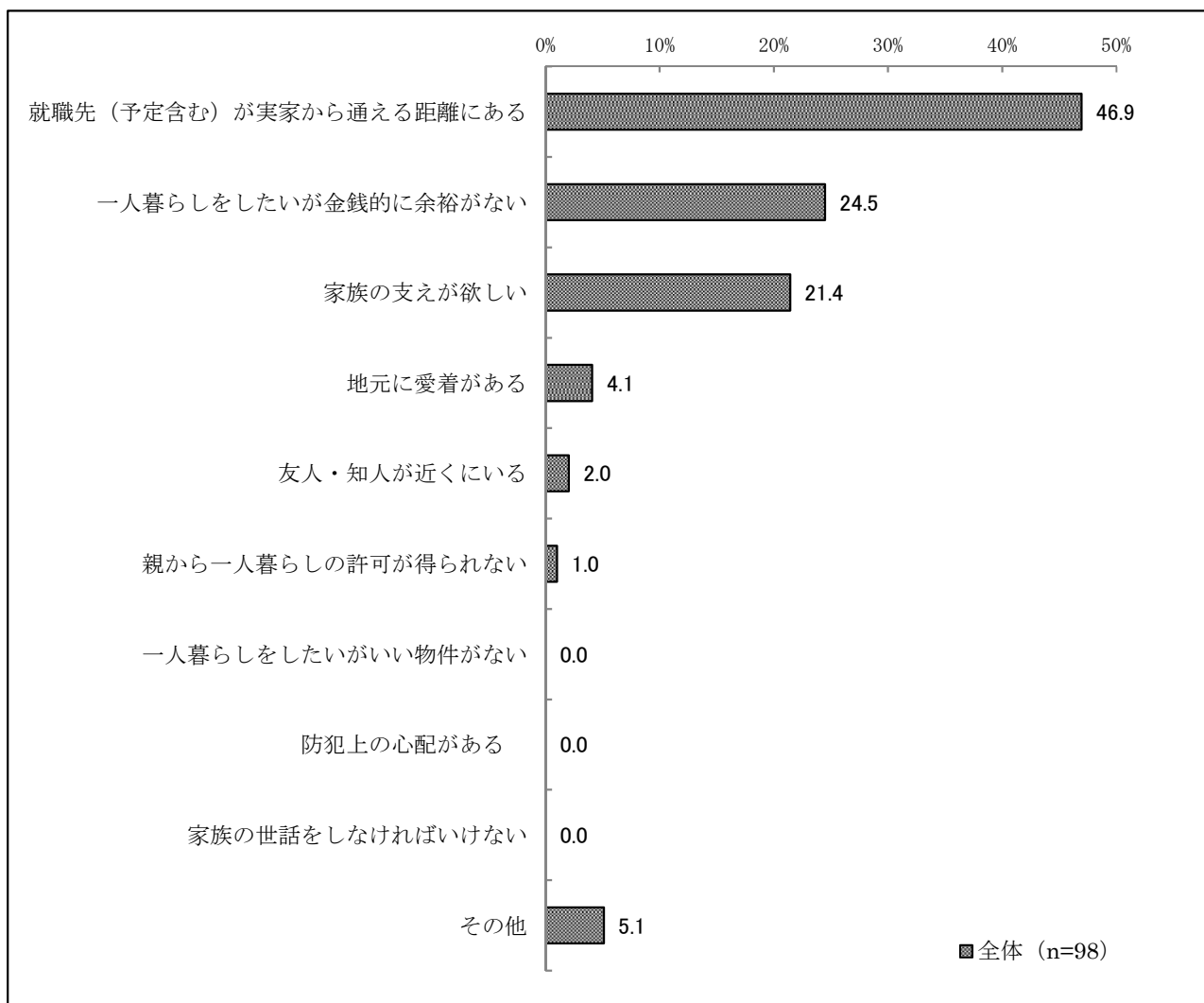
図4-1 4月からの住まい(勤務地別)



(2) 実家暮らしをする理由

問 22 【問 21 で「①実家暮らし」を選んだ方へ】

実家暮らしをする理由のうち、最も重視するものを1つ選んでください



- 『就職先（予定含む）が実家から通える距離にある』が5割弱と最も高く、次いで『一人暮らしをしたいが金銭的に余裕がない』が2割以上 —

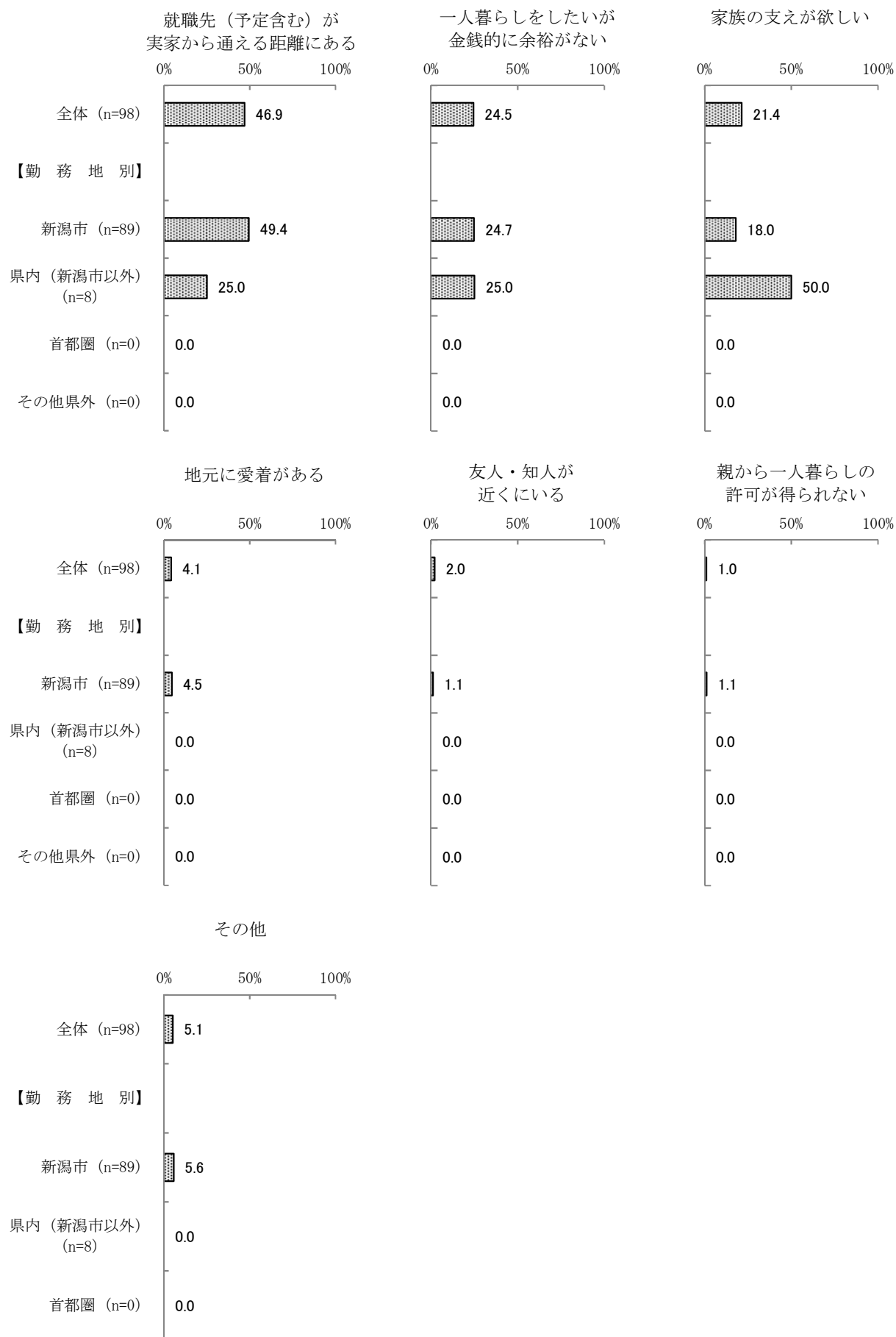
【全体結果】

全体では、「就職先（予定含む）が実家から通える距離にある」（46.9%）が最も高く、次いで「一人暮らしをしたいが金銭的に余裕がない」（24.5%）の順となった。実家暮らしを選択した人の中でも、潜在的に一人暮らしを希望する人は多い。

【勤務地別結果】（図 4-2 参照）

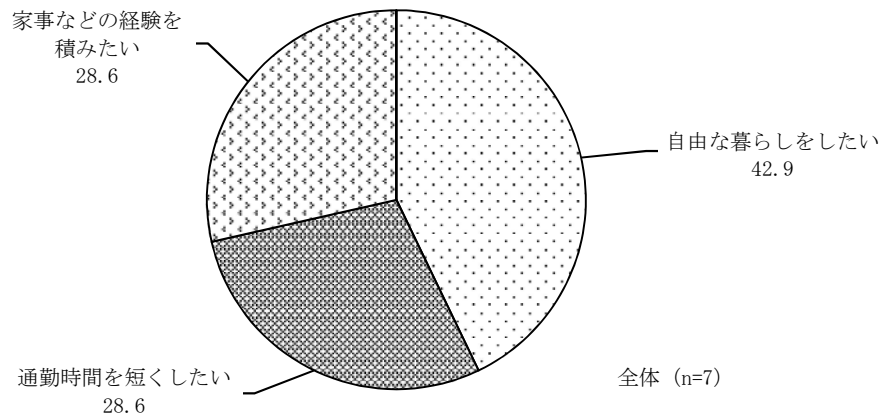
新潟市に勤務する人では、「就職先（予定含む）が実家から通える距離にある」（49.4%）が最も割合が高く約5割となった。県内（新潟市以外）に勤務する人では、「家族の支えが欲しい」（50.0%）が最も割合が高く5割となった。

図 4-2 実家暮らしをする理由（勤務地別）



(3) 一人暮らしをする理由

問 23 【問 21 で「②新潟県内で一人暮らし」を選んだ方へ】
一人暮らしをする理由のうち、最も重視するものを1つ選んでください



— 『自由な暮らしをしたい』の割合が最も高く4割強 —

【全体結果】

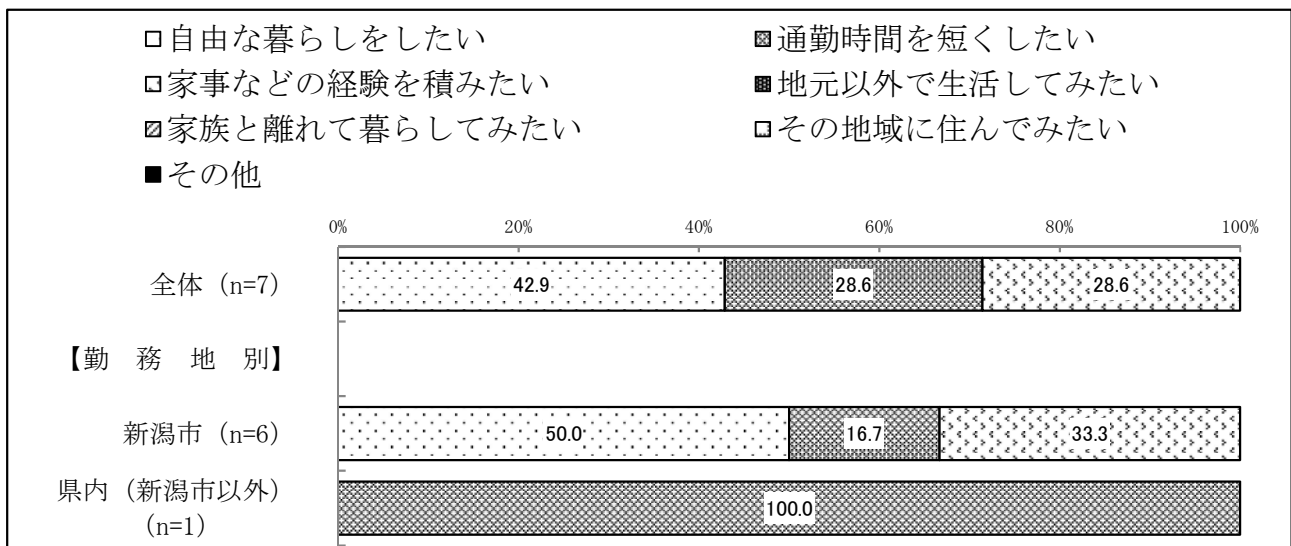
全体では、「自由な暮らしをしたい」(42.9%)の割合が最も高く約4割となった。次いで「通勤時間を短くしたい」「家事などの経験を積みたい」(いずれも28.6%)の順となった。

選択肢にあった、「家族と離れて暮らしてみたい」「その地域に住んでみたい」「地元以外で生活してみたい」と答えた人はいなかった。

【勤務地別結果】(図4-3参照)

回答者数が少ないため、図のみの表示とする。

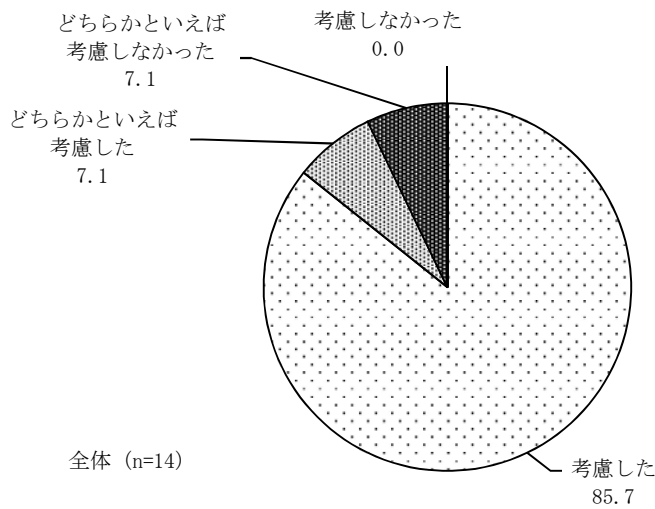
図4-3 一人暮らしをする理由(勤務地別)



(4) 就職先を選ぶうえで一人暮らしのための支援の考慮

問 24 【問 21 で「③新潟県外で一人暮らし」を選んだ方へ】

就職先を選ぶうえで一人暮らしのための支援（家賃補助や住宅手当、社宅の提供など）があることを考慮しましたか



— 『考慮した』『どちらかといえば考慮した』の合計は9割以上 —

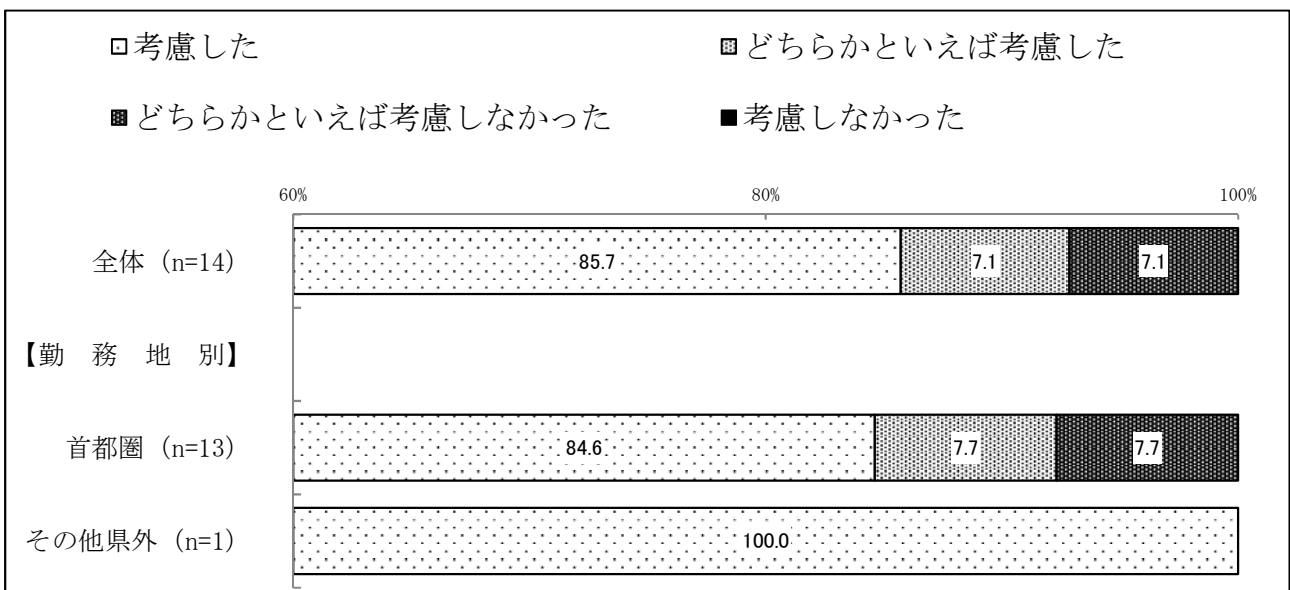
【全体結果】

全体では、「考慮した」(85.7%)の割合が最も高く8割を超えた。「どちらかといえば考慮した」「どちらかといえば考慮しなかった」(7.1%)を合わせると9割以上(92.9%)の人が考慮していることとなる。「考慮しなかった」と答えた人は一人もいなかった。

【勤務地別結果】(図 4-4 参照)

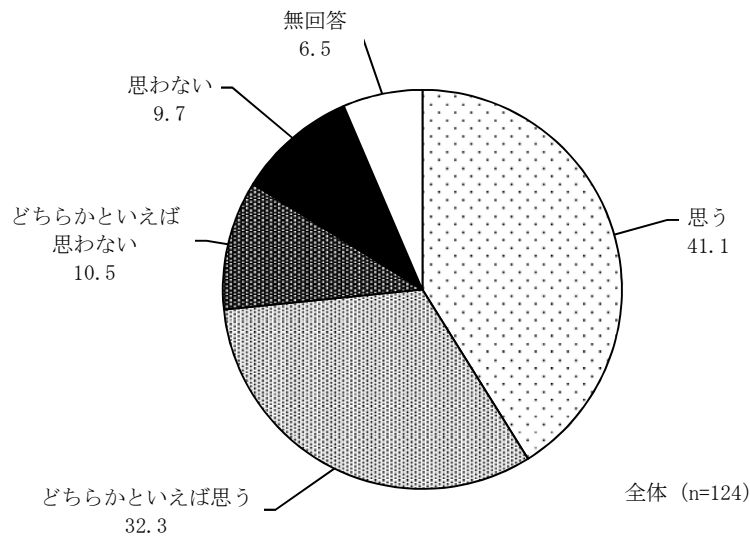
回答者数が少ないため、図のみの表示とする。

図 4-4 就職先を選ぶうえで一人暮らしのための支援の考慮 (勤務地別)



(5) 出身地で自己負担が少なく一人暮らしが出来る園の就職先候補への影響

問 25 出身地で自己負担が少なく一人暮らしが出来る園が増えたら、もっと多くの園が就職先の候補になっていたと思いますか



— 『思う』『どちらかといえば思う』の合計は7割以上 —

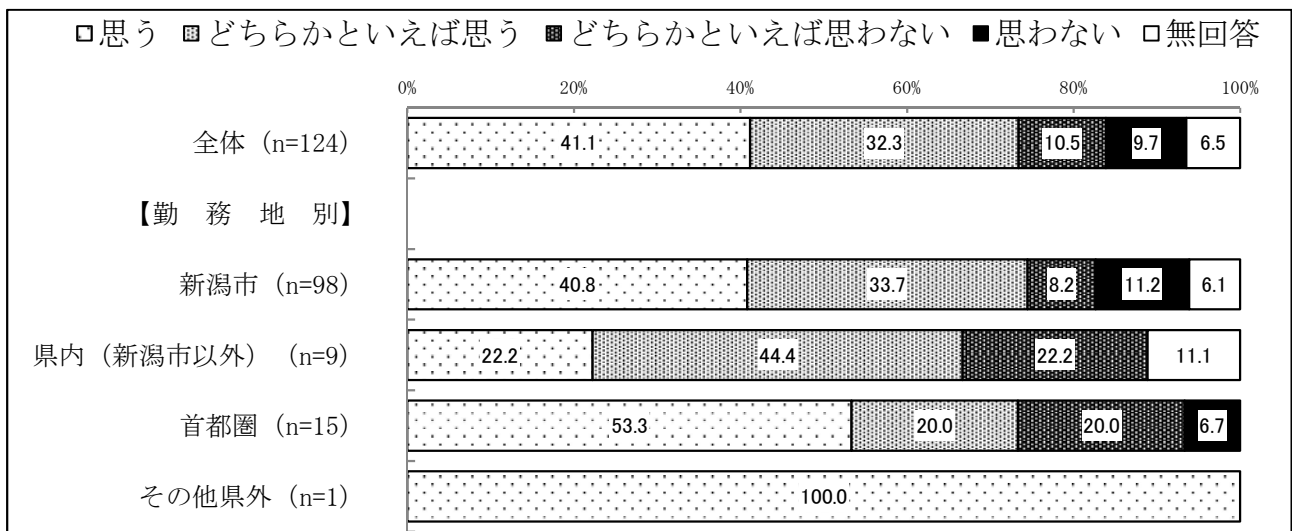
【全体結果】

全体では、「思う」(41.1%)の割合が最も高く約4割となった。次に「どちらかといえば思う」(32.3%)が高く『思う』の合計(73.4%)は7割を超えた。「どちらかといえば思わない」(10.5%)と「思わない」(9.7%)の『思わない』の合計(20.2%)は約2割となった。

【勤務地別結果】(図4-5参照)

「思う」「どちらかといえば思う」の合計の割合は、新潟市(74.5%)と首都圏(73.3%)で高く、県内(新潟市以外)(66.7%)で若干低かった。また、「思う」の割合は首都圏(53.3%)で最も高かった。

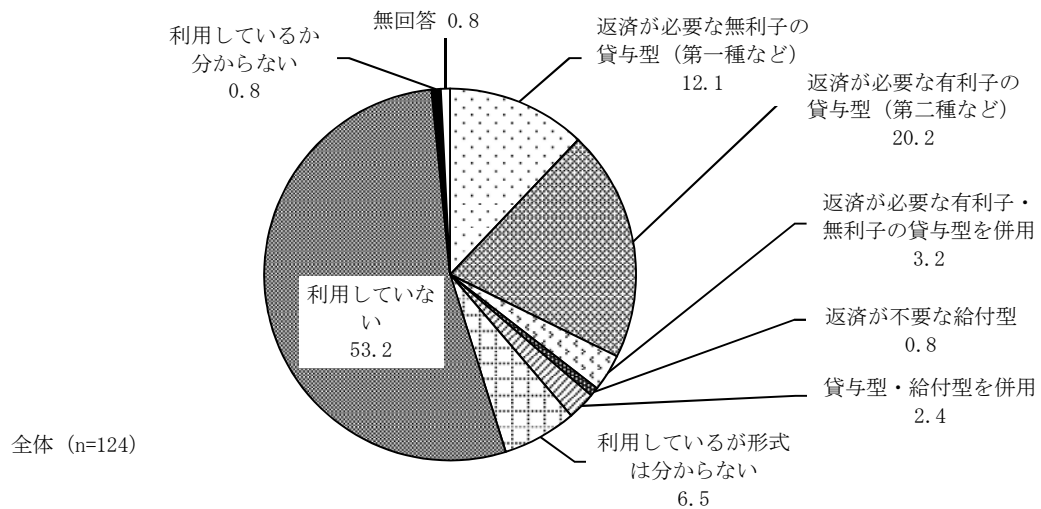
図 4-5 出身地で自己負担が少なく一人暮らしが出来る園の就職先候補への影響 (勤務地別)



5. 奨学金について

(1) 奨学金の利用の有無

問 26 現在の奨学金の利用の有無について当てはまるものを1つ選んでください



— 『奨学金を利用している人』は4割以上 —

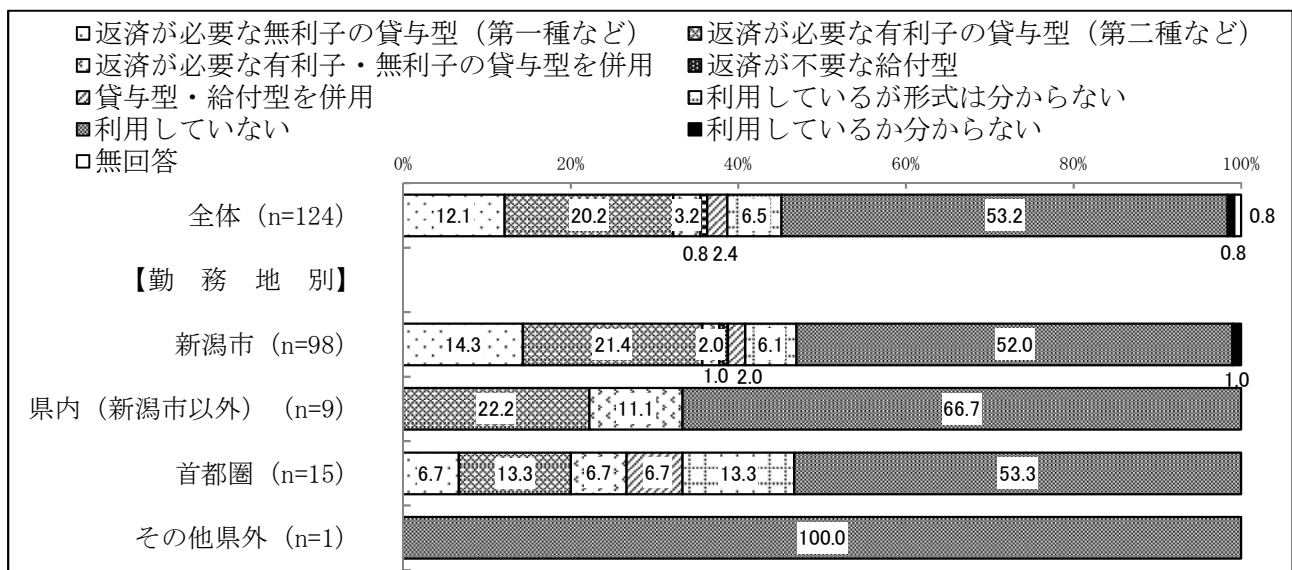
【全体結果】

全体では、何らかの奨学金を利用している人の合計が45.2%、「利用していない」が53.2%となった。利用している奨学金としては「返済が必要な有利子の貸与型 (第二種など)」(20.2%)、「返済が必要な無利子の貸与型 (第一種など)」(12.1%) の割合が高かった。

【勤務地別結果】 (図 5-1 参照)

何らかの奨学金を利用している人の割合は、県内 (新潟市以外) (33.3%) で割合が低かった。

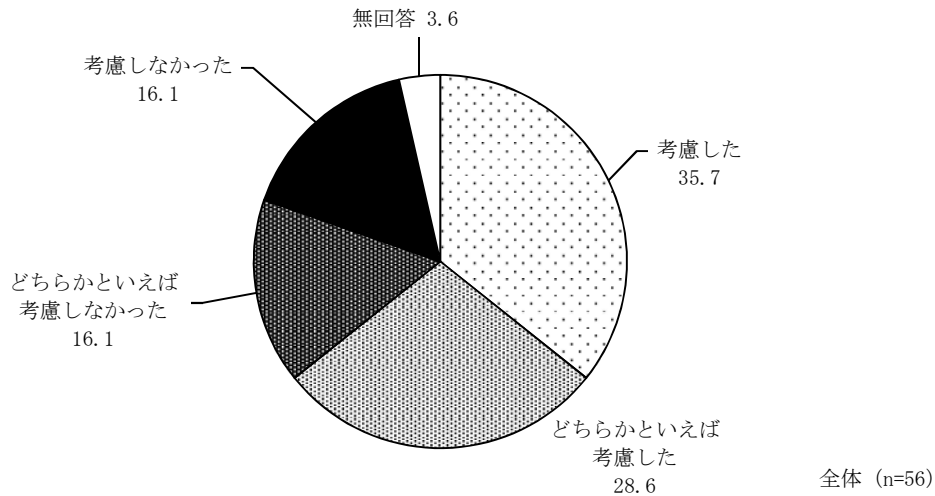
図 5-1 奨学金の利用の有無 (勤務地別)



(2) 就職先を選ぶうえでの、給与の高さや手当の考慮

問 27 【問 26 で①～⑥を選んだ方（奨学金を利用している方）へ】

就職先を選ぶにあたって、奨学金返済のために給与の高さや手当を考慮しましたか



— 『考慮した』『どちらかといえば考慮した』の合計は6割以上 —

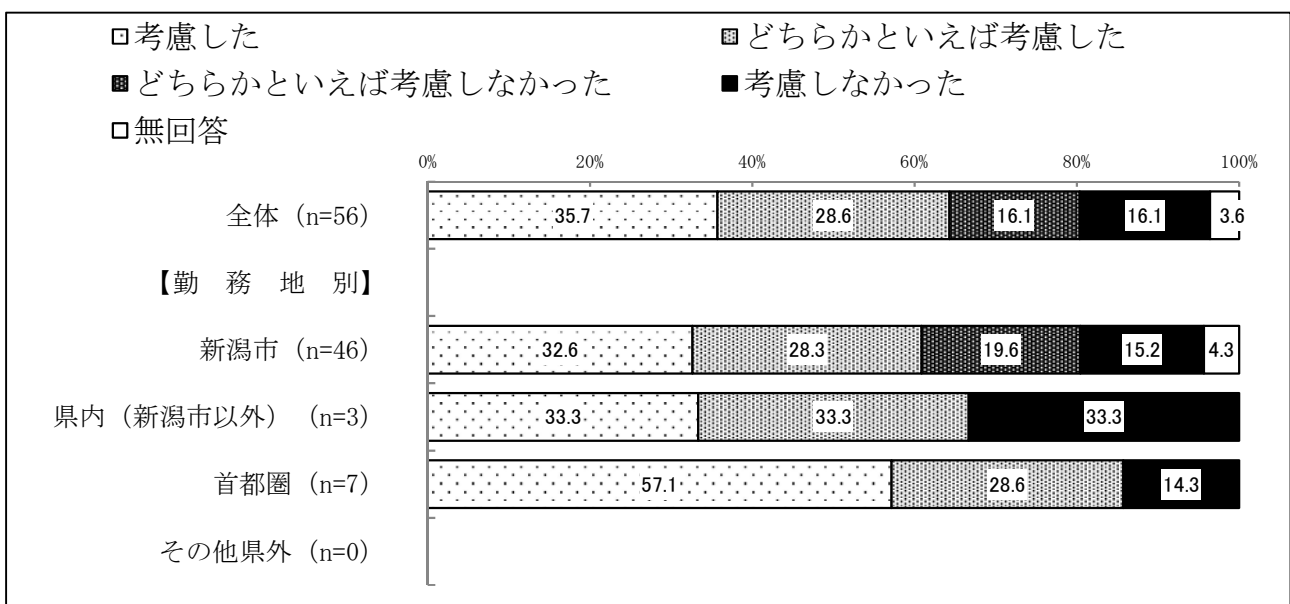
【全体結果】

全体では、「考慮した」(35.7%)、「どちらかといえば考慮した」(28.6%)の合計(64.3%)で6割を超えた。「どちらかといえば考慮しなかった」(16.1%)、「考慮しなかった」(16.1%)の合計(32.1%)は3割強となった。

【勤務地別結果】(図 5-2 参照)

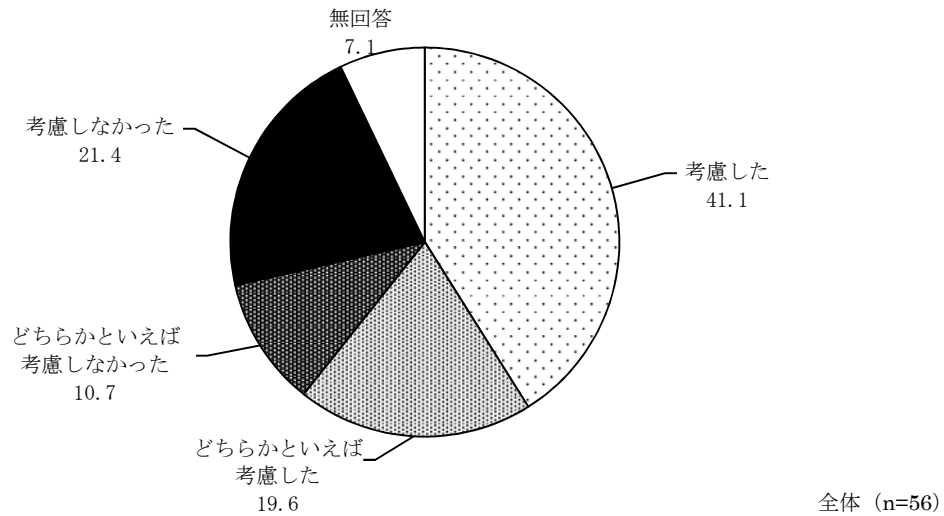
「考慮した」の割合が首都圏(57.1%)で最も高かった。

図 5-2 就職先を選ぶうえでの、給与の高さや手当の考慮(勤務地別)



(3) 就職先を選ぶうえで、奨学金返済のために実家から通えることの考慮

問 28 【問 26 で①～⑥を選んだ方（奨学金を利用している方）へ】
就職先を選ぶにあたって、奨学金返済のために実家から通えることを考慮しましたか



— 『考慮した』『どちらかといえば考慮した』の合計は約6割 —

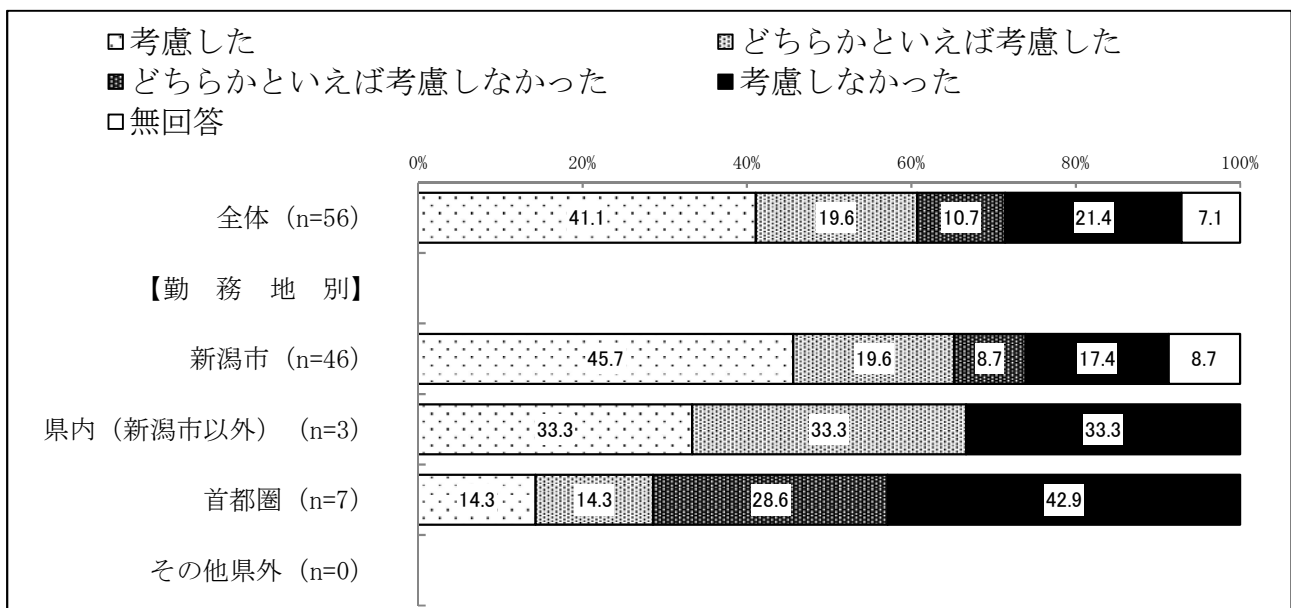
【全体結果】

全体では、「考慮した」(41.1%)、「どちらかといえば考慮した」(19.6%)の合計(60.7%)で約6割となった。「どちらかといえば考慮しなかった」(10.7%)、「考慮しなかった」(21.4%)の合計(32.1%)は3割強となった。

【勤務地別結果】(図5-3参照)

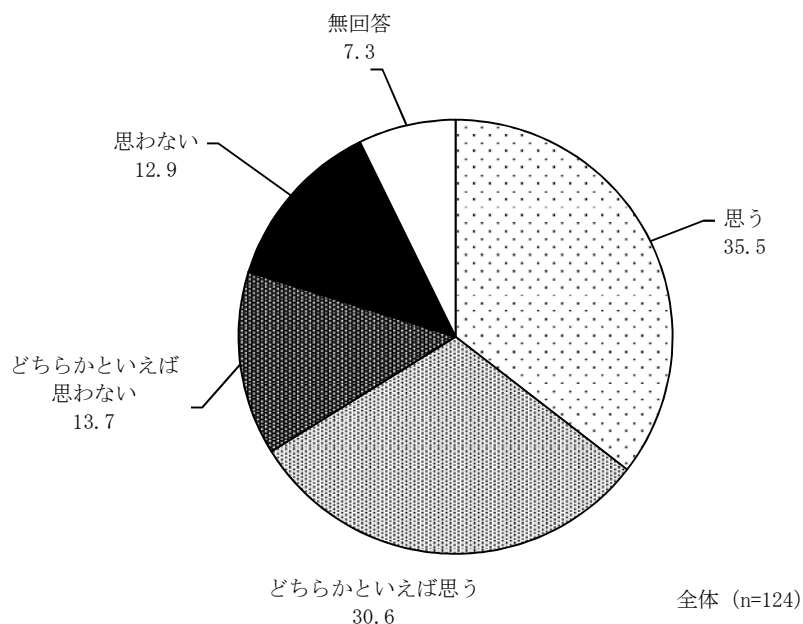
回答者数は少ないため、図のみの表示とする。

図5-3 就職先を選ぶうえで、奨学金返済のために実家から通えることの考慮(勤務地別)



(4) 出身地で就職した場合、奨学金の返済を免除・支援する制度の就職先候補への影響

問 29 出身地で就職した場合、奨学金の返済を免除もしくは返済を支援する制度があったとしたら、もっと多くの園が就職先の候補になっていたと思いますか



— 『思う』『どちらかといえば思う』の合計は6割以上 —

【全体結果】

全体では、「思う」(35.5%)の割合が最も高かった。次に「どちらかといえば思う」(30.6%)が高く『思う』の合計(66.1%)は6割を超した。「どちらかといえば思わない」(13.7%)と「思わない」(12.9%)の『思わない』の合計は、26.6%となった。

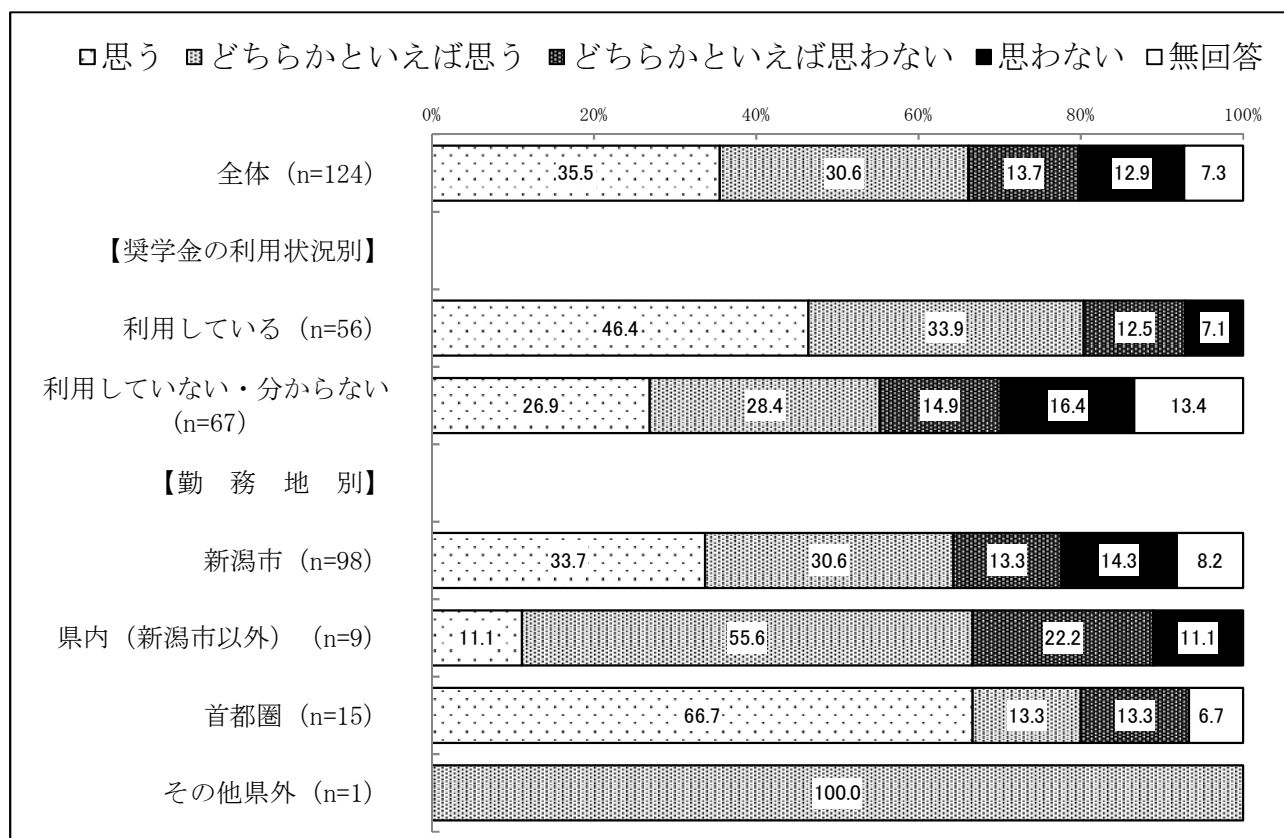
【奨学金の利用状況別結果】(図5-4参照)

何らかの奨学金を利用している人は、「思う」「どちらかといえば思う」の合計(80.4%)の割合が、利用していない・わからない人の合計(55.2%)と比較して高く差がみられた。

【勤務地別結果】(図5-4参照)

「思う」「どちらかといえば思う」の合計の割合は、首都圏(80.0%)で高く8割となった。

図 5-4 出身地で就職した場合、奨学金の返済を免除・支援する制度の就職先候補への影響
(奨学金の利用状況別/勤務地別)



Ⅲ 調査票様式

保育士養成施設 就職状況にかかる調査 調査票

日ごろより市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

新潟市では、保育士養成施設に在籍する皆さまの就職に関する状況と意識を把握し、支援について検討するため、「保育士養成施設 就職状況にかかる調査」を実施します。

お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願い申し上げます。

この調査は、県内の保育士養成施設に在籍する今年度卒業予定の学生の皆様を対象に実施するものです。調査結果は、県内各市町村や教育・保育施設で共有させていただく予定です。なお、回答者個人が特定されることは一切ございません。ご回答いただいた調査票は特定の業者のみが取り扱い、厳重に保管の上、適切な形で破棄します。

令和2年1月

新潟市政策企画部
新潟市こども未来部保育課

【調査票ご記入にあたってのお願い】

1. 答えの中からあてはまるものを選び、選択肢の番号に○印をつけてください。
2. 設問によって選択肢の数が異なりますので、ご注意ください。
また「その他（ ）」をお選びいただいた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. 回答を書きなおす場合は、×をつけるか、二重線を引いて書きなおしてください。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和2年1月23日(木)までに在籍する保育士養成施設のご担当者様にご提出ください。

本調査への回答は新潟市ホームページ上でも可能です。以下のURLにアクセスしていただくか、右のQRコードをスマートフォン等で読み取ってご回答ください。その場合、調査票用紙の提出は不要です。



URL : <https://www.shinsei.elg-front.jp/niigata-City/uketsuke/form.do?acs=hoikushiyousei>

ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

■新潟市 政策企画部 川上

電話：025-226-2153（直通）

Eメール：seisakukikaku@city.niigata.lg.jp

■新潟市 こども未来部 保育課 団原・森

電話：025-226-1215（直通）

Eメール：hoiku@city.niigata.lg.jp



新潟市子育て応援キャラクター
ほのわちゃん

現況について

問1 現在通っている保育士養成施設（以下、「学校」といいます）を選んでください

- ①新潟県立大学 ②上越教育大学 ③新潟青陵大学
④新潟中央短期大学 ⑤新潟青陵大学 短期大学部 ⑥北陸福祉保育専門学院
⑦日本こども福祉専門学校 ⑧国際こども・福祉カレッジ ⑨新潟こども医療専門学校
⑩長岡こども福祉カレッジ ⑪ひまわり幼児教育専門学院
⑫にいがた食育・保育専門学校えぷろん

問2 就職予定の施設の種類を選んでください

【教育・保育施設】

- ①公立保育園 ②私立認可保育園 ③公立幼稚園 ④私立幼稚園
⑤認定こども園 ⑥小規模保育施設 ⑦事業所内保育施設 ⑧認可外保育施設

【その他】

- ⑨その他児童福祉施設 ⑩その他福祉施設（高齢者福祉・障がい者福祉など）
⑪法人への採用（施設は未決定） ⑫福祉行政職への採用
⑬一般企業 ⑭その他 ⑮ ①～⑧で就職活動中
⑯ ⑨～⑭で就職活動中

問3 出身地（現在の学校に入学する前の住所地）を選んでください

【県内市町村（50音順）】

- ①阿賀野市 ②阿賀町 ③粟島浦村 ④出雲崎町 ⑤糸魚川市 ⑥魚沼市
⑦小千谷市 ⑧柏崎市 ⑨加茂市 ⑩刈羽村 ⑪五泉市 ⑫佐渡市
⑬三条市 ⑭新発田市 ⑮上越市 ⑯聖籠町 ⑰関川村 ⑱胎内市
⑲田上町 ⑳津南町 ㉑燕市 ㉒十日町市 ㉓長岡市 ㉔新潟市
㉕見附市 ㉖南魚沼市 ㉗妙高市 ㉘村上市 ㉙弥彦村 ㉚湯沢町

【その他】

- ⑳首都圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県） ㉑その他県外（ 県）

問4 就職予定の勤務地（施設の所在地）を選んでください

※就職活動中の方や勤務地がまだ決まっていない方は、希望する勤務地を選んでください

【県内市町村（50音順）】

- ①阿賀野市 ②阿賀町 ③粟島浦村 ④出雲崎町 ⑤糸魚川市 ⑥魚沼市
⑦小千谷市 ⑧柏崎市 ⑨加茂市 ⑩刈羽村 ⑪五泉市 ⑫佐渡市
⑬三条市 ⑭新発田市 ⑮上越市 ⑯聖籠町 ⑰関川村 ⑱胎内市
⑲田上町 ⑳津南町 ㉑燕市 ㉒十日町市 ㉓長岡市 ㉔新潟市
㉕見附市 ㉖南魚沼市 ㉗妙高市 ㉘村上市 ㉙弥彦村 ㉚湯沢町

【その他】

- ⑳首都圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県） ㉑その他県外（ 県）

就職活動時の情報収集について

問5 以下の施設を対象とした就職活動を行いましたか

【対象の教育・保育施設】

公立保育園・私立認可保育園・公立幼稚園・私立幼稚園・認定こども園・小規模保育施設・
事業所内保育施設・認可外保育施設

①行った ②行わなかった

⇒①を選んだ方は問7以降へ、②を選んだ方は問6へ進んでください。

問6 【問5で②を選んだ方へ】なぜ上記施設への就職活動を行わなかったのか記入してください

(自由記入)

⇒問5の対象施設への就職活動を行っていない方はここで終了となります。ご協力ありがとうございました。

問7 【問5で①を選んだ方へ】就職活動を昨年のいつ頃から始めたか1つ選んでください(求人
の情報収集や説明会の参加などを始めた時期)

①3月以前 ②4～5月 ③6～7月 ④8～9月 ⑤10～11月
⑥12月以降

問8 就職活動時の情報収集をする際に参考にしたものを全て選んでください(複数回答)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ①学校に届く求人情報 | ②園のホームページ・SNS |
| ③園や法人などが主催の採用説明会 | ④園の採用パンフレット |
| ⑤就職情報サイト | ⑥合同就職フェア |
| ⑦学校の職員の助言 | ⑧親の助言 |
| ⑨卒業生の助言 | ⑩友人の助言 |
| ⑪学校で行う保育実習・教育実習 | ⑫自主的な実習・見学・ボランティア(⑪以外) |
| ⑬実際に働いている職員との意見交換会 | ⑭先輩保育士のSNS(非公式) |
| ⑮人材派遣会社の情報 | |
| ⑯その他(自由記入:) | |

問9 【問8で選んだもののうち、最も参考にした方法を1つ選んでください】

①学校に届く求人情報	②園のホームページ・SNS
③園や法人などが主催の採用説明会	④園の採用パンフレット
⑤就職情報サイト	⑥合同就職フェア
⑦学校の職員の助言	⑧親の助言
⑨卒業生の助言	⑩友人の助言
⑪学校で必修の保育実習・教育実習	⑫自主的な実習・見学・ボランティア（⑪以外）
⑬実際に働いている職員との意見交換会	⑭先輩保育士のSNS（非公式）
⑮人材派遣会社の情報	
⑯その他（自由記入： _____）	

問10 就職活動の参考として、今後最も充実させるとよいと思うものを1つ選んでください

①学校の求人情報（掲載情報の充実）	②園のホームページ・SNS（採用ページの充実）
③園や法人主催の採用説明会	④園の採用パンフレット
⑤就職情報サイト（地域の採用情報の一括掲載）	
⑥合同就職フェア	⑦学校で必修の保育実習・教育実習
⑧自主的な実習・見学・ボランティアの機会（⑦以外）	
⑨実際に働いている職員との意見交換会	
⑩その他（自由記入： _____）	

問11 就職先に公開してほしい情報（気になる情報）を3つまで選んでください

①過去の採用・離職状況	②残業時間	③有給休暇の取得率
④産前産後休業・育児休業の取得率	⑤職員の平均給与額	
⑥職員の平均勤続年数	⑦職員体制（保育士の配置が手厚いかどうか）	
⑧実際に働いている職員の声	⑨職員の研修・教育体制	
⑩採用後のモデルキャリア（将来像）		
⑪その他（自由記入： _____）		

問12 学校で必修の保育・教育実習以外に、就職活動の参考として自主的に実習や見学・ボランティアに参加した先の施設数を選んでください

①0施設	②1施設	③2～3施設	④4～5施設	⑤6施設以上
------	------	--------	--------	--------

問13 教育実習または自主実習・見学で実際に受けてみてよかったと思う内容や今後実施するとよいと思うプログラムなどがあれば記入してください（自由記入）

--

就職先の決定について

問 14 就職先を決めるにあたって重視したものを全て選んでください (複数回答)

- | | | |
|------------------------|-----------------------|---------------|
| ①園の教育・保育方針や理念 | ②給与・賞与 | ③通勤手当 |
| ④住宅手当 | ⑤職員の人柄や雰囲気 | ⑥同世代の職員の存在 |
| ⑦休日のとりやすさ | ⑧残業時間 | ⑨出産・子育てしやすい環境 |
| ⑩職員体制 (保育士の配置が手厚いかどうか) | ⑪園の規模 (小規模であるか) | |
| ⑫園の規模 (大規模であるか) | ⑬ICT の導入状況 (業務のデジタル化) | |
| ⑭職員への教育・研修体制 | ⑮キャリアアップ (昇進・昇格) の制度 | |
| ⑯自宅からの距離 (通勤時間) | ⑰園舎の清潔感 (新しさ) | |
| ⑱その他 (自由記入 : | |) |

問 15 【問 14 の中で、最も重視したものを 1 つ選んでください】

- | | | |
|------------------------|-----------------------|---------------|
| ①園の教育・保育方針や理念 | ②給与・賞与 | ③通勤手当 |
| ④住宅手当 | ⑤職員の人柄や雰囲気 | ⑥同世代の職員の存在 |
| ⑦休日のとりやすさ | ⑧残業時間 | ⑨出産・子育てしやすい環境 |
| ⑩職員体制 (保育士の配置が手厚いかどうか) | ⑪園の規模 (小規模であるか) | |
| ⑫園の規模 (大規模であるか) | ⑬ICT の導入状況 (業務のデジタル化) | |
| ⑭職員への教育・研修体制 | ⑮キャリアアップ (昇進・昇格) の制度 | |
| ⑯自宅からの距離 (通勤時間) | ⑰園舎の清潔感 (新しさ) | |
| ⑱その他 (自由記入 : | |) |

問 16 就職活動を進める中で実際に就職したい候補として残った施設数を選んでください

※「市町村の保育士・幼稚園教諭採用募集」や「複数の園を運営する法人の採用募集」については 1 施設とカウントしてください

- | | | | | | | |
|-------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
| ①0 施設 | ②1 施設 | ③2～3 施設 | ④4～5 施設 | ⑤6～7 施設 | ⑥8～9 施設 | ⑦それ以上 |
|-------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|

問 17 【問 16 のうち、実際に募集に申し込んだ施設数を選んでください】

- | | | | | | | |
|-------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
| ①0 施設 | ②1 施設 | ③2～3 施設 | ④4～5 施設 | ⑤6～7 施設 | ⑥8～9 施設 | ⑦それ以上 |
|-------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|

問 18 1 年目の月給 (額面) として欲しいと思った金額を 1 つ選んでください

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| ①13～14 万円台 | ②15～16 万円台 | ③17～18 万円台 | ④19～20 万円台 |
| ⑤21～22 万円台 | ⑥23～24 万円台 | ⑦25～26 万円台 | ⑧それ以上 |

問 23 【問 21 で②を選んだ方へ】一人暮らしをする理由のうち、最も重視するものを1つ選んでください

- | | |
|-------------------|----------------|
| ①通勤時間を短くしたい | ②家事などの経験を積みたい |
| ③地元以外で生活してみたい | ④家族と離れて暮らしてみたい |
| ⑤自由な暮らしをしたい | ⑥その地域に住んでみたい |
| ⑦その他（自由記入： _____） | |

問 24 【問 21 で③を選んだ方へ】就職先を選ぶうえで一人暮らしのための支援（家賃補助や住宅手当、社宅の提供など）があることを考慮しましたか

- | | |
|------------------|---------------|
| ①考慮した | ②どちらかといえば考慮した |
| ③どちらかといえば考慮しなかった | ④考慮しなかった |

問 25 出身地で自己負担が少なく一人暮らしが出来る園が増えたら、もっと多くの園が就職先の候補になっていたと思いますか

- | | | | |
|-----|-------------|---------------|-------|
| ①思う | ②どちらかといえば思う | ③どちらかといえば思わない | ④思わない |
|-----|-------------|---------------|-------|

奨学金について

問 26 現在の奨学金の利用の有無について当てはまるものを1つ選んでください

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 【利用している場合】 | |
| ①返済が必要な無利子の貸与型（第一種など） | |
| ②返済が必要な有利子の貸与型（第二種など） | |
| ③返済が必要な有利子・無利子の貸与型を併用 | ④返済が不要な給付型 |
| ⑤貸与型・給付型を併用 | ⑥利用しているが形式は分からない |
| 【利用していない場合】 | |
| ⑦利用していない | |
| 【その他】 | |
| ⑧利用しているか分からない | |

問 27 【問 26 で①～⑥を選んだ方へ】就職先を選ぶにあたって、奨学金返済のために給与の高さや手当を考慮しましたか

- | | |
|------------------|---------------|
| ①考慮した | ②どちらかといえば考慮した |
| ③どちらかといえば考慮しなかった | ④考慮しなかった |

問 28 【問 26 で①～⑥を選んだ方へ】就職先を選ぶにあたって、奨学金返済のために実家から通えることを考慮しましたか

- | | |
|------------------|---------------|
| ①考慮した | ②どちらかといえば考慮した |
| ③どちらかといえば考慮しなかった | ④考慮しなかった |

問 29 出身地で就職した場合、奨学金の返済を免除もしくは返済を支援する制度があったとしたら、もっと多くの園が就職先の候補になっていたと思いますか

①思う ②どちらかといえば思う ③どちらかといえば思わない ④思わない

⇒以上で設問は終了となります。ご協力ありがとうございました。